



(様式第 9)

番 号  
平成25年10月8日

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 日本医科大学  
理事長 赫 彰郎

日本医科大学付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	69 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	545人	175人	576.6人	看護補助者	82人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	0人	0人	0.0人	理学療法士	9人	臨床検査技師	94人
薬剤師	66人	1人	66.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	177人	0人	177.0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	19人	0人	19.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	955人	3人	956.7人	臨床工学技士	23人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	1人	1人	1.9人	栄養士	2人	その他の技術員	15人
歯科衛生士	0人	0人	0.0人	歯科技工士	0人	事務職員	156人
管理栄養士	8人	0人	8.0人	診療放射線技師	61人	その他の職員	50人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	746.3人	人	746.3人
1日当たり平均外来患者数	1,926.4人	人	1,926.4人
1日当たり平均調剤数	1,167剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	7人
骨髄細胞移植による血管新生療法	2人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	6人
腹腔鏡下仙骨腫固定術	13人
硬膜外自家血注入療法	10人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
頸部内視鏡手術 甲状腺濾胞腺腫、腺腫様甲状腺腫、バセドウ病又は原発性上皮小体機能亢進症	50人
急性心筋梗塞に対するエボエチンベータ投与療法 急性心筋梗塞(再灌流療法の成功したものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	遺伝子診断(患者組織・血液検体)による肺癌個別化治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 RGR, ALK, ROS, RET遺伝子を中心に、薬物感受性、耐性因子、副作用予測を検索し、肺癌化学療法及び分子標的治療薬の選択を行っている。			
医療技術名	修正型通電療法	取扱患者数	400人
当該医療技術の概要 全身麻酔下でパルス波治療器を用いて両側額部に貼った電極シールから電流を通電することで脳神経細胞を刺激し、うつ病や緊張症などの病状改善させる治療法。当精神神経科は都内でも有数の治療歴があり、中高年の身体合併症のある患者に積極的に使用し、高い改善率が見られている。			
医療技術名	経皮的心肺補助装置(PCPS)を用いた院外心停止症例の心肺脳蘇生	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 心停止が目撃され、かつ心原性心停止が強く疑われる院外心停止は一刻も早い脳循環を確保しつつ、自己心拍の再開を施行する必要がある。当施設では当該症例に積極的にPCPSを導入し、その後の集中治療も行い高い社会復帰率(約25%)を誇っている。			
医療技術名	重症頭部外傷例における脳低体温療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 重症頭部外傷では頭蓋内圧(ICP)制御が患者の生命予後を決定する最も大きな要因であるが、通常の治療法ではICP制御できない重症頭部外傷に体表冷却法を用いて34℃の脳低体温療法を導入して、多くの症例を救命している。			
医療技術名	ドクターカーシステムを用いた病院前の救急患者治療	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要 東京消防庁と連携し重篤な救急患者に対して当院ドクターカーが救急現場に救急科専門医を派遣し、救急現場で治療を開始している。その結果、心肺停止症例の蘇生率はドクターカーシステムを使用したかった場合と比較して蘇生率は約2倍高いことが実証されている。			
医療技術名	ECMO(Extracorporeal Membrane Oxygenation)による重症呼吸不全、循環不全への治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 重症呼吸不全、循環不全例に対しECMOによる呼吸、循環補助を行う。			
医療技術名	リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 リンパ浮腫の患者に対してマイクロサージャリー顕微鏡下に0.5mm以下の血管(静脈)とリンパ管を吻合し、リンパ浮腫を治療している。			
医療技術名	遊離複合組織移植術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 皮膚や皮下脂肪だけでなく、筋肉や骨を複合して移植し、顔面などの再建を行っている。マイクロサージャリー顕微鏡下に血管を吻合している。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	体外受精・顕微授精などの高度生殖補助医療	取扱患者数	110人
当該医療技術の概要 難治性不妊症を中心に、体外受精、顕微授精を行っている。受精卵の胚凍結を積極的に行い、妊娠率の向上を目指している。			
医療技術名	悪性腫瘍治療前の精液凍結保存	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 悪性腫瘍化学療法前に精液を凍結保存することにより、妊孕性の温存が可能である。若年患者に対し、積極的に保存を行っている。			
医療技術名	3mm 細径鉗子による超低侵襲腹腔鏡下手術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 当科が独自に開発した、腹壁操作鉗子を3mm鉗子としたReduced Port Surgeryであり、低侵襲で整容性に優れている。			
医療技術名	TVM法(腔式メッシュ手術)	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 メッシュを用いた骨盤臓器脱の治療法。従来法に比べて再発率の少無く、有効性の高い術式として注目されている。			
医療技術名	経腹的子宮頸管縫縮術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 子宮頸部上皮内癌に対する円錐切除後の子宮腔部欠損症例に対し、早産予防目的で経腹的に行った頸管縫縮術である。			
医療技術名	中隔子宮に対する子宮鏡下中隔切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 習慣流産の原因となる中隔子宮に対し、従来の開腹による子宮形成術と異なる低侵襲のアプローチで治療を行っている。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	31人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	49人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	62人	・原発性胆汁性肝硬変	44人
・全身性エリテマトーデス	82人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	23人
・再生不良性貧血	42人	・混合性結合組織病	8人
・サルコイドーシス	127人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	12人	・特発性間質性肺炎	33人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	1人	・網膜色素変性症	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	74人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	13人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	133人	・神経線維腫症	1人
・大動脈炎症候群	16人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	23人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	20人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	37人	・ライゾーム病	3人
・クローン病	52人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	29人	・脊髄性筋萎縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	97人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	22人
・後縦靭帯骨化症	19人	・肥大型心筋症	16人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	19人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	5人	・リンパ管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	72人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	15人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	217人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に5回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 33例 / 部検率 5.9%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重篤な遺伝病に対する周産期遺伝子治療（胎児遺伝子治療に向けた包括的取り組み）	島田 隆	遺伝診療科	442万	補委 文部科学省
アミロイド分子イメージングによる中高年うつ病のアルツハイマー病前駆病変の検出	大久保 善朗	精神神経科	468万	補委 文部科学省
難治性膵がんに対する革新的膵灌流療法の開発と臨床応用に関する研究	村田 智	放射線科	481万	補委 文部科学省
下垂体腺腫の増殖におけるSDF-1の役割に関する分子形態学的研究	吉田 大蔵	脳神経外科	65万	補委 文部科学省
脳代謝モニタリング・網羅的脳代謝解析に基づく心肺停止蘇生後の病態及び治療の研究	恩田 秀賢	高度救命救急センター	78万	補委 文部科学省
脳虚血後の神経細胞死と血管新生におけるCDK5活性の役割とその制御機構	永田 智香子	神経・腎臓内科	65万	補委 文部科学省
ヒト人工骨髄の作成と造血幹細胞・白血病幹細胞のニッチの解析研究	植田 高弘	小児科	91万	補委 文部科学省
悪性黒色腫形成・増殖に関わるシグナルの同定、特に紫外線誘発黒色腫形成機序の解明	船坂 陽子	皮膚科	39万	補委 文部科学省
神経メラニMRIを用いた難治性うつ病のドーパミン、ノルアドレナリン機能評価研究	舘野 周	精神神経科	117万	補委 文部科学省
SPECT合成3D-CT乳腺リンパ管造影によるセンチネルリンパ節生検の検証	山下 浩二	消化器・乳腺・一般・移植外科	39万	補委 文部科学省
膵癌に対するMDA/IL24を用いた新規遺伝子治療の開発	相本 隆幸	消化器・乳腺・一般・移植外科	117万	補委 文部科学省

小計 11 件



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
FGFR2Ⅲcアイソフォームの制御による膵臓癌の治療戦略	石渡 俊行	病理部	143万	補委 文部科学省
遺伝子変異型により分類化した血管型エーラス・ダンロス症候群の治療手法の開発	渡邊 淳	遺伝診療科	104万	補委 文部科学省
膀胱癌に対するBCG注入療法作用機序の解明	高橋 秀実	東洋医学科	117万	補委 文部科学省
胎児血管特性を応用したアデノシン誘導型DESの開発	澤 倫太郎	女性診療科・産科	78万	補委 文部科学省
眼科手術用灌流液への水素ガス応用の研究	高橋 浩	眼科	117万	補委 文部科学省
顎骨における水平的骨増生を目指した組織工学的手法の検討	百束 比古	形成外科・美容外科	130万	補委 文部科学省
ショック後腸管リンパ液生理活性および臓器障害に対する腸管由来アラキドン酸の関与	増野 智彦	高度救命救急センター	130万	補委 文部科学省
サブスタンスP受容体を標的とした新規アルコール依存症治療薬の探索と脳機能画像評価	大久保 善朗	精神神経科	104万	補委 文部科学省
肺静脈隔離術後早期に出現する心房細動に対する抗不整脈薬の有用性の検討	林 明聡	一般・循環器・再生医療科	26万	補委 文部科学省
ヘモグロビンクラススイッチの解明とヘモグロビン異常症の新しい治療戦略の基礎的研究	早川 潤	小児科	117万	補委 文部科学省
ラジオ波温熱刺激を用いた変形性関節症の疼痛抑制効果に関する研究	高橋 謙治	整形外科	169万	補委 文部科学省
難治性がん性疼痛患者におけるくも膜下モルヒネ鎮痛法の費用対効果	中西 一浩	緩和ケア科	130万	補委 文部科学省

小計 12 件

研究課題名				補助元又は委託元	
慢性胃炎進展とシクロオキシゲナーゼ2遺伝子単塩基変異の役割	坂本 長逸	血液・内分泌代謝・消化器・肝臓内科	195万	補委	文部科学省
線維化病態における骨髄前駆線維細胞の役割と新規治療薬の効果判定に関する研究	吾妻 安良太	呼吸器内科	143万	補委	文部科学省
アニオン型尿毒症性物質群を除去するハイブリット型人工腎臓の開発	鶴岡 秀一	神経・腎臓内科	104万	補委	文部科学省
PETを用いたアデノシン受容体とパーキンソン病の不随意運動の関係についての研究	三品 雅洋	神経・腎臓内科	117万	補委	文部科学省
川崎病発症機構の解明	深澤 隆治	小児科	143万	補委	文部科学省
血管炎の急性期における血管平滑筋細胞の形質転換に伴う細胞機能・応答機構の解明	小川 俊一	小児科	169万	補委	文部科学省
デュアルエネルギーサブトラクション法によるマンモグラフィに関する研究	村上 隆介	放射線科	78万	補委	文部科学省
外科的侵襲時の脂肪細胞の役割と塩酸ピオグリタゾン投与の有効性	松谷 毅	消化器・乳腺・一般・移植外科	156万	補委	文部科学省
In vivo イメージングシステムを用いた膵癌治療実験	内田 英二	消化器・乳腺・一般・移植外科	143万	補委	文部科学省
バセドウ病患者における個別化医療実現のための基礎的研究	五十嵐 健人	内分泌・心臓血管・呼吸器外科	156万	補委	文部科学省
ダブル・ポテンシャル・マッピング法：伝導ブロックの新しい検証法の開発	新田 隆	内分泌・心臓血管・呼吸器外科	117万	補委	文部科学省
慢性期統合失調症患者に発症する嚥下障害の実態調査と病態解明のための研究	三枝 英人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	143万	補委	文部科学省

小計 12 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
眼内微小環境の恒常性維持の分子機構の解析と眼組織移植への応用	堀 純子	眼科	182万	補 委	文部科学省
幹細胞とコラーゲン架橋を導入した無細胞真皮マトリックスによる結合組織の再生	高見 佳宏	形成外科・ 美容外科	182万	補 委	文部科学省
出血性ショック後臓器障害発生における軟部組織損傷の役割に関する研究	大泉 旭	高度救命救急 センター	156万	補 委	文部科学省
医学生に対する内視鏡外科トレーニングの教育効果の検討	野村 務	消化器・乳腺・ 一般・移植外科	91万	補 委	文部科学省
HBV由来低分子RNAの機能解析と肝癌発癌メカニズムの解明	水口 善昭	消化器・乳腺・ 一般・移植外科	247万	補 委	文部科学省
胃癌腹膜播種における間葉系幹細胞のホーミング分子機構とips gene発現の解析	二神 生爾	血液・内分泌代謝・ 消化器内科	156万	補 委	文部科学省
薬剤送達システム徐放化多血小板血漿による血管再生治療	高木 元	一般・循環器・ 再生医療科	143万	補 委	文部科学省
肺癌の特異的血清およびエクソソーム由来マイクロRNAの同定および個別化治療の応用	清家 正博	呼吸器内科	286万	補 委	文部科学省
CAP1遺伝子変異による急性骨髄性白血病の発症や再発機序の解明	山口 博樹	血液・内分泌代謝・ 消化器・肝臓内科	364万	補 委	文部科学省
ドパミントランスポーターイメージングによるレビー小体型認知症バイオマーカーの研究	上田 諭	精神神経科	208万	補 委	文部科学省
MDC T/PETを用いた非侵襲的な冠動脈不安定プラーク検出に関する研究	汲田 伸一郎	放射線科	104万	補 委	文部科学省
臓器提供に関する本人、家族意志を反映し得る脳死判定補助検査に関する研究	横田 裕行	高度救命救急 センター	208万	補 委	文部科学省

小計 12 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児生体肝移植後グラフト肝加齢変化のテロメア長とテロメラーゼ活性による解明	川野 陽一	消化器・乳腺・一般・移植外科	234万	補委 文部科学省
下垂体腺腫におけるmiRNAの機能解析	寺本 明	脳神経外科	91万	補委 文部科学省
ケロイド由来腺維芽細胞のカルシウムイオンチャンネル解析	石井 暢明	形成外科・美容外科	104万	補委 文部科学省
Microwave照射による新しいびまん性脳損傷モデルの開発	布施 明	高度救命救急センター	91万	補委 文部科学省
2型糖尿病合併脳梗塞における虚血性細胞障害増悪のメカニズムの追求と新規治療の試み	桂 研一郎	神経・腎臓内科	273万	補委 文部科学省
間質性肺疾患の末梢血中線維細胞に関する研究	根井 貴仁	集中治療室	65万	補委 文部科学省
造血幹細胞移植後の血栓性微小血管症の発症機序の解明	三井 亜希子	神経・腎臓内科	117万	補委 文部科学省
腎疾患における抗炎症性マクロファージの誘導と治療応用	藤田 恵美子	神経・腎臓内科	117万	補委 文部科学省
咽頭蠕動波は咽頭期嚥下の絶対的な基準となり得るか？	山口 智	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130万	補委 文部科学省
siRNA技術を用いた遺伝子治療研究	五十嵐 勉	眼科	130万	補委 文部科学省
体内遺伝子発現変動からみた全身麻酔の機序解明	坂本 篤裕	麻酔科	182万	補委 文部科学省
胎児免疫寛容における胎児抗原特異的CTLの挙動と胎盤のバリア機構の解明	市川 雅男	女性診療科・産科	156万	補委 文部科学省

小計 12 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮頸管リモデリング制御におけるプロゲステロンシグナリングの作用分子機構	桑原 慶充	女性診療科・産科	169万	補委 文部科学省
Urocortin2の子宮内膜症における発言と病態への関与の解析	明楽 重夫	女性診療科・産科	130万	補委 文部科学省
鼻副鼻腔炎を伴う鼻茸の発症機序と再発に関与するT細胞特にTreg細胞の新たな役割	Ruby Pawankar	小児科	260万	補委 文部科学省
高浸透圧と自然免疫がドライアイに及ぼす影響と、それに基づく新たな予防・治療戦略	藤本 千明	眼科	169万	補委 文部科学省
骨軟部組織損傷後の臓器傷害発生メカニズムの検討	塚本 剛志	高度救命救急センター	117万	補委 文部科学省
ヒトの創造過程における気づきの作用点と効果	小野 眞史	眼科	273万	補委 文部科学省
アクリジンオレンジ光線力学療法による耐性菌感染の制御	角田 隆	整形外科	91万	補委 文部科学省
Ang/Tiegが関与する敗血症性臓器障害発症機序解明とその制御法の確立	和田 剛志	高度救命救急センター	234万	補委 文部科学省
腕神経叢麻痺の再建法選択における決定分析と費用効用分析	小野 真平	高度救命救急センター	377万	補委 文部科学省
超広視野ナノレベル構造観測による乳癌幹細胞 in situ 同定法の開発	山本 陽一郎	病理部	299万	補委 文部科学省
食道癌におけるPIK3CA/AktとマイクロRNAに関する分子生物学的解析	赤木 一郎	消化器・乳腺・一般・移植外科	169万	補委 文部科学省
消化管神経内分泌腫瘍におけるLumicanの機能解明と新規治療薬の開発	進士 誠一	消化器・乳腺・一般・移植外科	130万	補委 文部科学省

小計 12 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症脳損傷における脳低温療法後の免疫機能	松本 学	高度救命救急センター	91万	⑩補委 文部科学省
眼科手術用灌流液への水素ガス応用の研究	高橋 浩	眼科	117万	⑩補委 文部科学省
がんプロフェッショナル養成プラン	弦間 昭彦	呼吸器内科	1,000万	⑩補委 文部科学省
$\alpha 1$ -Syntrophin 欠損マウスを用いた視神経脊髄炎の病態解析	亀谷 修平	眼科	130万	⑩補委 文部科学省
代謝型グルタミン酸受容体 1 型 (mGluR1) に注目した悪性黒色腫形成および増殖に関わるシグナル伝達の同定	船坂 陽子	皮膚科	50万	⑩補委 加齢皮膚医学研究会
「診断・治療に新たな展開をもたらす機能性 RNA 研究」RNAi 技術および AAV ベクターを用いた VEGF 抑制による眼内新生血管抑制療法の開発	高橋 浩	眼科	1,000万	⑩補委 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
眼疾患モデルの開発と病態解明および臨床展開	堀 純子	眼科	550万	⑩補委 私立大学教育研究高度化推進特別補助
眼疾患による「眩しさ」および「開眼困難感」と遮光カラーの関係の fNIRS を用いた他覚的な検証	小野 眞史	眼科	50万	⑩補委 東海光学
先端医科学研究に関する倫理的・法的・社会的課題についての調査研究	渡邊 淳	遺伝診療科	200万	⑩補委 文部科学省
健常者・気分障害を中心とする統合脳画像データベースの構築	大久保 善朗	精神神経科	325万	⑩補委 文部科学省

小計 10 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ドーピング検査手法の実効性の確保に関する整備事業	大久保 善朗	精神神経科	1,467万	補 委	文部科学省
支持療法の開発と標準化のための研究	久保田 馨	化学療法科	1,426万	補 委	厚生労働省

小計 2 件

合計 83 件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bono Joint Nerve	[変形性膝関節症をめぐる進歩] (PART4) 変形性関節症の保存療法：変形性関節症に対する物理療法	高橋 譲治	リウマチ科
整形外科看護	先天性股関節脱臼	高橋 譲治	リウマチ科
整形外科看護	変形性股関節症	高橋 譲治	リウマチ科
International Journal of Rheumatic Diseases	Protemic analysis of bone marrow – adherent cells in rheumatoid arthritis and osteoarthritis	Toshikazu Kamada	リウマチ科
眼科手術	線維柱帯切除術後の毛様体解離が疑われた低眼圧黄斑症	仲里 ゆり	眼科
J Nippon Med Sch	Usefulness of a Semicircular Capsulotomy Marker	Hisaharu Sukuki	眼科
眼科手術	Signature Ellips FX による虹彩色素脱出の頻度と原因の検討	鈴木 久晴	眼科
J Nippon Med Sch	Simultaneous treatment of pterygium and temporal conjunctivochalasis	Hisaharu Sukuki	眼科
J Nippon Med Sch	Mometasone Furoate Nasal Spray Relieves the Ocular Symptoms of Seasonal Allergic Rhinoconjunctivitis	Tsutomu Igarashi	眼科
Molecular Vision.	A new mutation in the RP1L1 gene in a patient with occult macular dystrophy associated with a depolarizing pattern of focal macular electroretinograms	Takenori Kabuto	眼科
J Nippon Med Sch	Simultaneous treatment of pterygium and temporal conjunctivochalasis	Hisaharu Suzuki	眼科
Current eye research 2013; (in press)	Direct comparison of the administration routes for AAV8-mediated ocular gene therapy	Tsutomu Igarashi	眼科

小計 12 件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
IOVS 2013; (in press)	Adaptive optics imaging of geographic atrophy	Kiyoko Gocho	眼科
Int J CardiovascImag	MRI classification of asymmetric septal hypertrophic cardiomyopathy and its relation to the presence of risk factors	Amano Y	放射線科
ActaRadiol (in press)	Endovascular embolization strategy for renal arteriovenous malformations	Murata S	放射線科
Hepatogastroenterology	Glue Embolization for Endoscopically Unmanageable Gastrointestinal Haemorrhage	Murata S	放射線科
Radiology	Pharmacologic advantages of negative-balance isolated pelvic perfusion: achievement of intensive exposure of the pelvis to platinum without systemic leakage	Murata S	放射線科
Int Heart Journal	Massive Pulmonary Embolism Requiring Extracorporeal life support treated with catheter-based interventions	Munakata R	放射線科
EurRadiol	Contrast-induced nephropathy in patients with renal insufficiency undergoing contrast-enhanced MDCT	Murakami R	放射線科
J Nippon Med Sch	Clinical Clerkship Course for Medical Students on Lumbar Puncture Using Simulators	Miyashita T	放射線科
Jpn J Radiol	CT,MRI,and PET findings of gastric schwannoma	Takeda M	放射線科
Comparison with 4D Flow MR Imaging Using SENSE (submitted)	Feasibility of 4D Flow MR Imaging of the Brain with Cartesian y-z Radial Sampling and k-t SENSE	Sekine T	放射線科
J Nippon Med Sch	4D Flow MRI Assessment of Hemodynamics in Patients post EC-IC bypass	Sekine T	放射線科
MagnReson Med Sci	et al. Hepatosplenic and muscular sarcoidosis: characterization with MR imaging	Sekine T	放射線科

小計 12 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Radiol	T2-weighted and delayed enhancement MRI of eosinophilic myocarditis: relationship with clinical phases and global cardiac function	Tani H	放射線科
ActaRadiol	comparison with two-dimensional Look-Locker and late gadolinium enhancement MRI	Amano Y	放射線科
新医療	患者に優しい機器の、真価を論証してみる「優しさ」の本質を解く「優しい CT」化において患者側、医療提供側が得たものを説く 歴史及び低侵襲性を踏まえて	町田 幹	放射線科
集中治療医学	あんな症例こんな症例. 肺血栓塞栓症における SPECT-CT 診断	福嶋 善光	放射線科
集中治療医学	あんな症例こんな症例. SPECT/CTA Fusion image を用いたたこつば型心筋症の診断	福嶋善光	放射線科
RadFan	IVR 医の留学～夢と現実 スウェーデン（マルメ・ウプサラ）留学について	小野澤 志郎	放射線科
第 12 回技術教育セミナー シラバス	副腎静脈サンプリング サンプリングの実際と CT	小野澤志郎	放射線科
高線量率小線源治療装置によるケロイドの術後照射	高線量率小線源治療装置によるケロイドの術後照射	栗林 茂彦	放射線科
臨床放射線	ケロイド術後照射の予後因子 小線源表在照射症例における検討	岩野 茉莉絵	放射線科
Anticancer Res	Alternating Chemotherapy with Amrubicin Plus Cisplatin and Weekly Administration of Irinotecan Plus Cisplatin for Extensive-stage Small Cell Lung Cancer	野呂 林太郎	呼吸器内科
Geriatr Gerontol Int	Decreased serum transforming growth factor-β1 concentration with aging is associated with the severity of emphysema in chronic obstructive pulmonary disease	神尾 孝一郎	呼吸器内科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Chemother Pharmacol	Bevacizumab plus chemotherapy for advanced non-squamous non-small-cell lung cancer with malignant pleural effusion	北村 和広	呼吸器内科
Anticancer Res	Combination chemotherapy of alternating etoposide and carboplatin with weekly administration of irinotecan and cisplatin in extensive-stage small-cell lung cancer	吉村 明修	呼吸器内科
Respir Investig	Long-term management of chronic obstructive pulmonary disease: a survey of collaboration among physicians involved in pulmonary rehabilitation in Japan	茂木 孝	呼吸器内科
Ann Oncol	Diagnostic and prognostic significance of the alternatively spliced ACTN4 variant in high-grade neuroendocrine pulmonary tumours	宮永 晃彦	呼吸器内科
Int J Oncol	MiR-23a regulates TGF- $\beta$ -induced epithelial-mesenchymal transition by targeting E-cadherin in lung cancer cells	清家 正博	呼吸器内科
Biochem Biophys Res Commun	$\alpha$ 1,6-Fucosyltransferase (Fut8) is implicated in vulnerability to elastase-induced emphysema in mice and a possible non-invasive predictive marker for disease progression and exacerbations in chronic obstructive pulmonary disease (COPD)	神尾 孝一郎	呼吸器内科
COPD	Association between genetic variations in surfactant protein d and emphysema, interstitial pneumonia, and lung cancer in a Japanese population	石井 健男	呼吸器内科
Intern Med	Polymyxin B-immobilized fiber column (PMX) treatment for idiopathic pulmonary fibrosis with acute exacerbation: a multicenter retrospective analysis	阿部 信二	呼吸器内科
日本医師会雑誌	成人膝関節慢性疾患の手術法・長期成績と専門医に紹介するタイミング	高井 信朗	整形外科
リウマチ科	人工関節置換術後感染の疫学と対策	飯澤 典茂	整形外科
Journal of Orthopaedic Surgery	Double clavicle fracture associated with ipsilateral scapular neck and coracoids process fracture	Nanno M	整形外科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
東日本整形災害外科学会雑誌	R 骨鉤状突起骨折の治療成績の検討	南野 光彦	整形外科
Joskas	腱板大断裂・広範囲断裂修復術後に対する protective rehabilitation の有効性	橋口 宏	整形外科
日本マイクロサージャリー学会会誌	下肢悪性骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家処置骨移植と遊離腓骨皮弁併用例の治療成績	友利 裕二	整形外科
整形・災害・外科	前外側進入法を用いた小児上腕骨外顆骨折治療	友利 裕二	整形外科
臨床整形外科	橈骨遠位端骨折の治療 橈骨遠位端骨折の疫学	澤泉 卓哉	整形外科
Int J Cardiol	Relationship between left ventricular dyssynchrony and systolic dysfunction is independent of impaired left ventricular myocardial perfusion in heart failure	Miyachi H	集中治療室
臨床放射線	二核種同時 SPECT と心電図同期 SPECT を用いた心筋梗塞における心筋血流・脂肪酸代謝、収縮能、同期性の関係の検討	山本 彰	集中治療室
Anesthesia 21 Century	呼吸管理法は患者予後を変えるか、人工呼吸法の進歩、ALI, ARDS の予後	間瀬 大司	集中治療室
Journal of anesthesia	Extracorporeal Membrane Oxygenation for 2009 Influenza A(H1N1) Severe Respiratory Failure in Japan	Takeda S	集中治療室
心臓	巨大右房内血栓を伴う亜広範囲型肺塞栓に対して、血栓溶解療法を選択し、経時的な病態把握により救命できた一例	澤井 啓介	集中治療室

小計 10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Progress in Medicine	VT storm に対するアミオダロン静注薬の有効性	村田 広茂	集中治療室
Catheterization and Cardiovascular Interventions	Successful Treatment for Refractory Coronary Thrombus with Scoring Balloon Angioplasty	Hosokawa Y	集中治療室
International Journal of Cardiology	Inhaled nitric oxide therapy for secondary pulmonary hypertension with hypertrophic obstructive cardiomyopathy and severe kyphoscoliosis	Hosokawa Y	集中治療室
Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery	Haemolytic anaemia due to stenosed double-reinforced grafts after surgical repaired aortic dissection	Yamamoto T	集中治療室
International Journal of Cardiology	Giant left atrium due to mitral stenosis with massive atelectasis: A successful case with perioperative approach	Tanida A	集中治療室
Crit Care	Association of body temperature and antipyretic treatments with mortality of critically ill patients with and without sepsis: multi-centered prospective observational study.	Tanaka K	集中治療室
Circ J	Noninvasive ventilation in pulmonary edema complicating acute myocardial infarction.	Yamamoto T	集中治療室
Int J Cardiol	Intensive and Cardiac Care Unit, Nippon Medical School Hospital	Tanida A	集中治療室
Int Heart J	Massive pulmonary embolism requiring extracorporeal life support treated with catheter-based interventions	Munakata R	集中治療室
ICU と CCU	Medical ICU における sepsis/septic shock への低用量ステロイド投与に関する検討	鈴木 学	集中治療室

小計 10 件

誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Progress In Medicine	VT storm に対するアミオダロン静注薬の有効性	村田 広茂	集中治療室
American Journal of Physiology - Lung Cellular and Molecular Physiology	IgM-type GM-CSF autoantibody is etiologically a bystander but associated with IgG-type autoantibody production in autoimmune pulmonary alveolar proteinosis	Nei T	集中治療室
呼吸器内科	体外式膜型人工肺 (ECMO) 療法	青景 聡之	集中治療室
medicina	補助循環	青景 聡之	集中治療室
ICU と CCU	ECMO- Update 再評価の経緯と本邦における臨床- 適応症例とは	竹田 晋浩	集中治療室
Journal of Anesthesia	Extracorporeal membrane oxygenation for 2009 influenza A(H1N1) severe respiratory failure in Japan	Takeda S	集中治療室
Anesthesia 21 Century	呼吸管理法は患者予後を変えるか 人工呼吸法の進歩, ALI, ARDS の予後	間瀬 大司	集中治療室
Journal of Nippon Medical School	Solitary nasal schwannoma: usefulness of CD34 and calretin staining for distinction from histological mimickers	大橋 隆治	病理部
Clinical and Experimental Nephrology	Proliferative glomerulonephritis with monoclonal IgG2 κ deposit successfully treated with steroid: A case report and review of the literature	大橋 隆治	病理部
International Journal of Nephrology and Renovascular Disease	Acute renal failure as the presenting sign of disseminated intravascular coagulation in a patient with metastatic prostate cancer	大橋 隆治	病理部

小計 10 件

誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Vascular Medicine	Etanercept suppresses arteritis in a murine model of Kawasaki disease: A comparative study involving different biological agents	大橋 隆治	病理部
Journal of Nippon Medical School	In situ search for breast cancer stem cells and their niche: Film sheet epoxy resin embedding method (FSEM) and breast cancer stem cells	山本 陽一郎	病理部
臨床検査	臨床検査の展望	土屋 眞一	病理部
J Nippon Med Sch	Mediastinal cystic hemangioma presenting as bilateral bloody pleural effusion: a case report	窪倉 浩俊	病理部
Immunology	Ribavirin modulates the conversion of human CD4(+) CD25(-) T cell to CD4(+) CD25(+) FOXP3(+) T cell via suppressing interleukin-10-producing regulatory T cell	Kobayashi T	東洋医学科
J. Gastroenterol. Hepatol	Ribavirin downmodulates inducible costimulator on CD4+ T cells and their interleukin-10 secretion to assist in hepatitis C virus clearance	Atsukawa M	東洋医学科
Viral. Immunol	HTLV-I-infected breast milk macrophages inhibit monocyte differentiation to dendritic cells	Inagaki S	東洋医学科
Immunobiology	Disruption of maternal immune balance maintained by innate DC subsets results in spontaneous pregnancy loss in mice	Negishi Y	東洋医学科
Int. Immunol	Induction of rapid apoptosis for class I MHC molecule-restricted CD8+ HIV-1 gp160-specific murine activated CTLs by free antigenic peptide in vivo	Nakagawa Y	東洋医学科
Eur. J. Immunol.	E-cadherin interactions are required for Langerhans cell differentiation	Mayumi N	東洋医学科
臨床免疫・アレルギー科	ヒト免疫不全ウイルス HIV-1 の Nef による樹状細胞 CD1 脂質抗原提示機能の低下	新谷 英滋	東洋医学科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本東洋医学雑誌	透析患者における上腹部の消化器症状に対して平胃散が著効した4例	高久 俊	東洋医学科
Cell Immunol	Induction of apoptosis-resistant and TGF- $\beta$ -insensitive murine CTLs specific for HIV-1 gp160	Takaku S	東洋医学科
J.Nippon Medical School	Requirement of E-cadherin interactions for Langerhans cell differentiation	Takahaashi H	東洋医学科
Leukemia	Marrow stromal cells induce B7-H1 expression on myeloma cells, generating aggressive characteristics in multiple myeloma	Tamura H	東洋医学科
ワンランク上の小児の臨床検査	染色体異常症	渡邊 淳	遺伝診療科
Clin Endocrinol	Identical germline mutations in the TMEM127 gene in 2 unrelated Japanese patients with bilateral pheochromocytoma	Takeichi N	遺伝診療科
本臨床新領域別症候群シリーズ 20 先天性代謝異常症候群 (第2版) 下ー病因・病態研究、診断・治療の進歩	過剰運動症候群	渡邊 淳	遺伝診療科
メディカルテクノロジー 今日から役立つ 遺伝子検査実践マニュアル	薬物代謝酵素の遺伝学的検査	渡邊 淳	遺伝診療科
Congenital Anomalies	Ehlers-Danlos syndrome, vascular type: A novel missense mutation in the COL3A1 gene	Masuno M	遺伝診療科
Geriatr Gerontol Int	Long-term multiple risk factor interventions in Japanese elderly diabetic patients: The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial - study design, baseline characteristics and effects of intervention.	Araki A	老年内科

小計 10 件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Geriatr Gerontol Int	Non-high-density lipoprotein cholesterol: An important predictor of stroke and diabetes-related mortality in Japanese elderly diabetic patients	Araki A	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Relations of nutritional intake to age, sex and body mass index in Japanese elderly patients with type 2 diabetes: The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial	Yoshimura Y	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Optimal energy distribution of carbohydrate intake for Japanese elderly patients with type 2 diabetes: The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial	Kamada C	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Effects of total and green vegetable intakes on glycated hemoglobin A1c and triglycerides in Japanese elderly patients with type 2 diabetes: The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial	Takahashi K	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Dietary pattern and mortality in Japanese elderly patients with type 2 diabetes mellitus: Does a vegetable- and fish-rich diet improve mortality? An explanatory study	Iimuro S	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Lower physical activity, but not excessive calorie intake, is associated with metabolic syndrome in elderly with type 2 diabetes mellitus: The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial	Iijima K	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Lower physical activity is a strong predictor of cardiovascular events in elderly with type 2 diabetes mellitus beyond traditional risk factors: The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial	Iijima K	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Effective prevention of cardiovascular disease and diabetes-related events with atorvastatin in Japanese elderly patients with type 2 diabetes mellitus: Adjusting for	Shinozaki T	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Risk factors associated with cognitive decline in the elderly with type 2 diabetes: Baseline data analysis of the Japanese elderly diabetes intervention trial	Umegaki H	老年内科

小計 9 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Geriatr Gerontol Int	Risk factors for a 6-year decline in physical disability and functional limitations among elderly people with type 2 diabetes in the Japanese elderly diabetes intervention	Sakurai T	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Factors associated with progression of diabetic retinopathy in Japanese elderly patients with type 2 diabetes: Sub-analysis of the Japanese Elderly Diabetes	Araki S	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Prevalence and risk factors for diabetic maculopathy, and its relationship to diabetic retinopathy in elderly Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	Yamamoto T	老年内科
Geriatr Gerontol Int	Long-term risk factors for diabetic retinopathy and diabetic maculopathy in elderly Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	Yamamoto T	老年内科
Exp Clin Endocrinol Diabetes	Effects of sex and age on serum 1,5-anhydroglucitol in nondiabetic subject	Ouchi M	老年内科
J Clin Lab Anal	Urinary N-acetyl-β-D-glucosaminidase levels are positively correlated with 2-hr plasma glucose levels during oral glucose tolerance testing in prediabetes	Ouchi M	老年内科
J Diabetes Mellitus	Sitagliptin improves vascular endothelial function in Japanese type 2 diabetes patients without cardiovascular disease	Suzuki K	老年内科
Cardiovascular Diabetology	The effects of postprandial glucose and insulin levels on postprandial endothelial function in subjects with normal glucose tolerance	Suzuki K	老年内科
Renal Failure	Correlation between asymptomatic leukocyturia and urinary N-acetyl-β-D-glucosaminidase in women	Sekimizu K	老年内科
PLOS One	Bile acid binding resin improves metabolic control through the induction of energy expenditure	Watanabe M	老年内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hypo Hyperglycemia	The effect of colestimide on visceral fat mass and cytokine levels in patients with metabolic syndrome	Suzuki T	老年内科
J Nippon Med Sch	An effective training program for chest tube drainage for medical interns in a clinical simulation laboratory	Yoshimura A	老年内科
BMC Cardiovascular Disorders	Relationship between postprandial glucose level and carotid artery stiffness in patients without diabetes and cardiovascular disease	Watanabe K	老年内科
Journal of Diabetes Investigation	Management of Elevated Cholesterol in the primary prevention Group of Adult Japanese (MEGA) Study assists the view that a fasting plasma glucose level $\geq 100$	Tajima N	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Drugs Aging	Low-Dose Pravastatin and Age-Related Differences in Risk Factors for Cardiovascular Disease in Hypercholesterolaemic Japanese	Nakaya N	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Journal of Human hypertension	Blood pressure control status and effects of pravastatin on cardiovascular events occurrence in patients with dyslipidaemia	Kushiro T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Atheroscler Thromb	Usefulness of LDL-C-Related Parameters to Predict Cardiovascular Risk and Effect of Pravastatin in Mild-to-Moderate Hypercholesterolemia	Mizuno K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Current Vascular Pharmacology	Risk Factors for Cardiovascular Events in Japanese Patients Treated with Fluvastatin from the Long-Term Event Monitoring (LEM) Study	Morishita R	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Nippon Med Sch	Acute Aortic Dissection Associated with Cystic Medial Necrosis of Unknown Etiology	Akutu K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J of Cardiol	Immediate administration of atorvastatin decreased the serum MMP-2 level and improved the prognosis for acute heart failure	Shirakabe A	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科

小計 10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ Cardiovasc Imaging	Nonculprit Plaques in Patients With Acute Coronary Syndromes Have More Vulnerable Features Compared With Those With Non-Acute Coronary Syndromes A 3-Vessel Optical Coherence Tomography Study	Kato K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Ann Thorac Cardiovasc Surg	Simultaneous fenestration with stent implantation for acute limb ischemia due to type b acute aortic dissection complicated with both static and dynamic obstructions	Natita K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
心電図	新たに開発したコンピュータ補助接線法によるQT 間隔計測システム (キャプテン-QT) の再現性と信頼性	八島 正明	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
CVIT Jpn Ed	管腔内含有血液が OCT 画像に与える影響	水野 正之	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Effects of statin therapy on the production of monocyte pro-inflammatory cytokines, cardiac function, and long-term prognosis in chronic heart failure patients with dyslipidemia	Nakagomi A	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Malondialdehyde-modified low-density lipoprotein is a useful marker to identify patients with vulnerable plaque	Tajika K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
The Scientific World Journal	T2-weighted cardiac magnetic resonance imaging of edema in myocardial diseases	Amano Y	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Cardiology	Is the risk of new-onset diabetes by statins associated with diet adherence?	Mizuno K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Cardiology	etection of acute aortic dissection by extremely high soluble lectin-like oxidized LDL receptor-1(sLOX-1)and low troponin T levels in blood	Kobayashi N	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J of Cardiol	Links between sleep disordered breathing coronary atherosclerotic burden and cardiac biomarkers in patients with stable coronary artery disease	Inami T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int Heart J	Long-term prognostic impact after acute kidney injury in patients with acute heart failure	Shirakabe A	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Jpn Coron Assoc	Denervated sympathetic nerve distributed to motor muscle as a possible cause of enhanced bp response to exercise in patients with heart disease	Hukuma N	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Noninvasive ventilation in pulmonary edema complicating acute myocardial infarction	Yamamoto T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int J of Cardiol	Myocardial alterations and clinical implications associated with recovery of cardiac function in dilated cardiomyopathy with obesity	Saito T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int Heart J	Massive pulmonary embolism requiring extracorporeal life support treated with catheter-based interventions	Munakata R	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Clin Med Res	Switching to pitavastatin in statin-treated low HDL-C patients further improves the lipid profile and attenuates minute myocardial damage	Ibuki C	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Nippon Med Sch	Sleep-disordered breathing with nighttime hypocapnia relates to daytime enhanced ventilator response to exercise in patients with heart disease	Fukuma N	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Guidelines for secondary prevention of myocardial infarction (JCS 2011)JCS joint working group	Mizuno K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Journal of Human hypertension	Blood pressure control status and effects of pravastatin on cardiovascular events occurrence in patients with dyslipidaemia	Kushiro T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Cardiovasc Pharmacol Ther	The effect of low-dose pravastatin in metabolic syndrome for primary prevention of cardiovascular disease in Japan: a post-hoc analysis of the MEGA Study	Matsushima T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Cardiol	Risk reductions for cardiovascular disease with pravastatin treatment by dyslipidemia phenotype: A post hoc analysis of the MEGA Study	Nishiwaki M	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Nippon Med Sch	The Influence of a Direct Renin Inhibitor on the Central Blood Pressure	Kubota Y	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Korean Med Sci	The dipeptidyl peptidase-4 inhibitor sitagliptin improves vascular endothelial function in type 2 diabetes	Kubota Y	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
医学のあゆみ	糖尿病患者の重症下肢虚血に対する血管再生治療-Limb salvage のためのあらたな戦略	宮本 正章	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
創傷	マゴットセラピーの周術期副作用対策と予後改善を目指した適応判断	高木 元	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int J of Cardiol	Relationship between left ventricular dyssynchrony and systolic dysfunction is independent of impaired left ventricular myocardial perfusion in heart failure	Miyachi H	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int Heart J	ICacy and Limitations of Oral Inotropic Agents for the Treatment of Chronic Heart Failure: A Single Center Cross-sectional Observational Study	村井 網児	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Microwave Surg	ラジオ波焼灼療法施行中の腫瘍内圧測定	川本 智章	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Characteristics of patients with cardiac arrest caused by coronary vasospasm	Kobayashi N	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Cardiol	Prediction of atrial fibrillation after ischemic stroke using P-wave signal averaged electrocardiography	Yodogawa K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int J of Cardiol	Effect of insulin resistance associated with compensatory hyperinsulinemia on the long-term prognosis in patients with vasospastic angina	Nakagomi A	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Guidelines for clinical cardiac electrophysiologic study (JCS 2011)-Digest Version	Ogawa S	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Guidelines for non-pharmacotherapy of cardiac arrhythmias (JCS 2011)-Digest Version-	Okumura K	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Methodological considerations for utilizing plasma matrix metalloproteinase-9 as a biomarker in acute vascular syndromes	Kobayashi N	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科

小計 12 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Heart View	Exit from the Right Ventricular Outflow Tract through the Preferential Conduction Pathway in Premature Ventricular Contractions Originating from the Pulmonary	Naruyama M	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int J of Cardiol	Untreated obstructive sleep apnea as a differential diagnosis in young woman with aortic dissection	Inami T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int J of Cardiol	Unique case of giant Kommerell diverticulum with aberrant left subclavian artery arising from the left aortic arch associated with situs inversus	Inami T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Heart Asia	Images of a vascular ring with a right aortic arch and Kommerell diverticulum obtained by three-dimensional CT	Inami T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
BMJ Case Reports	Untreated severe obstructive sleep apnoea and development of acute aortic dissection	Inami T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Int J of Cardiol	Swimming in obstructive sleep apnea patient could be a risk factor of aortic dissection?	Inami T	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
J Cardiology	Clinical significance of acid-base balance in an emergency setting in patients with acute heart failure	Shirakabe A	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Circ J	Prognostic impact of acute kidney injury in patients with acute decompensated heart failure	Shirakabe A	一般・循環器・ 肝臓内科、 再生医療科
Interventional Neuroradiology	Symptomatic Middle Cerebral Artery Stenosis Treated by Percutaneous Transluminal Angioplasty: Improvement of Cerebrovascular Reserves	Abe A	神経・腎臓内科
J Neurotrauma	Involvement of mitogen-activated protein kinase pathways in expression of the water channel protein aquaporin-4 after ischemia in rat cortical astrocytes	Nito C	神経・腎臓内科
臨床透析	離島における腎代替療法	金子 朋広	神経・腎臓内科
腹膜透析 2012	離島における血液浄化療法	金子 朋広	神経・腎臓内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Synaps	Differential effects of age on human striatal adenosine A1 and A2A receptors.	Mishina M	神経・腎臓内科
脳卒中	Wake-up ischemic stroke に対する Merci Retriever 応用の可能性	鈴木 雅規	神経・腎臓内科
日医大医学会誌	印旛脳卒中地域連携バスの効果	三品 雅洋	神経・腎臓内科
日本認知症ケア学会誌	認知症の早期発見システムを考えるー待ぐるみ認知症相談センター利用者アンケートからー	野村 俊明	神経・腎臓内科
J Nippon Med Sch	Roles of Consultation Organization in the Early Detection of Dementia: From the Practice of the Community Consultation Center for Citizens with Mild Cognitive Impairment and Dementia Nippon Medical School	Nomura T	神経・腎臓内科
Neurol Med Chir	Simple solution for preventing cerebrospinal fluid loss and brain shift during multitrack deep brain stimulation surgery in the semisupine position: polyethylene glycol hydrogel dural sealant capping	Takumi I	神経・腎臓内科
Brain Res	Mild hypothermia enhanced the protective effect of protein therapy with transductive anti-death FNK protein using a rat focal transient cerebral ischemia model	Sakurazawa M	神経・腎臓内科
Intern Med	Validity and reliability assessment of a Japanese version of the Snaith-Hamilton pleasure scale	Nagayama H	神経・腎臓内科
Frontiers in Parkinson Disease	プラミベキソール少量投与でうつ症状が改善したパーキンソン病の1例 Snaith-Hamilton Pleasure Scale(SHAPS)を用いた検討	永山 寛	神経・腎臓内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Clinical features and a mutation with late onset of limb girdle muscular dystrophy 2B	Takahashi T	神経・腎臓内科
J Pharm Pharmacol	Inhibition of CYP3A4 by 6,7-dihydroxybergamottin in human CYP3A4 over-expressed hepG2 cells	Araki N	神経・腎臓内科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
薬理と治療	Double-antibody Radioimmunoassay (RIA2 抗体法) 測定で求めた EPO 濃度からの Epoetin Beta Pegol(MIRCERA®)濃度の推定	青木 路子	神経・腎臓内科
Ther Apher Dial	High target hemoglobin with erythropoiesis-stimulating agents has advantages in the renal function of non-dialysis chronic kidney disease patients	Tsubakihara Y	神経・腎臓内科
Clin Exp Nephrol	Renal disease in the elderly and the very elderly Japanese: analysis of the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR).	Yokoyama H	神経・腎臓内科
Blood Purif	N-Terminal pro-brain natriuretic peptide as a predictor of heart failure with preserved ejection fraction in hemodialysis patients without fluid overload.	Kamano C	神経・腎臓内科
Clin Chim Acta.	Effects of olmesartan and imidapril on the plasma adiponectin, P-selectin, and MDA-LDL levels of diabetic nephropathy patients	Utumi K	神経・腎臓内科
Clin Exp Nephro	Development of lymphatic vasculature and morphological characterization in rat kidney.	Tanabe M	神経・腎臓内科
J Clin Exp Hematop	Disappearance of both the BCR/ABL1 fusion gene and the JAK2V617F mutation with dasatinib therapy in a patient with imatinib-resistant chronic myelogenous leukemia	Inokuchi K	血液・内分泌代謝・消化器内科
Leukemia	Mutations of the Epigenetics Modifying Gene (DNMT3a, TET2, IDH1/2) at Diagnosis may Induce FLT3-ITD at Relapse in de novo Acute Myeloid Leukemia	Wakita M	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Gastroenterol Hepatol	Ribavirin down-modulates ICOS on CD4+T-cells and their interleukin-10 secretion to assist clearance of hepatitis C virus.	Atukawa M	血液・内分泌代謝・消化器内科
Leuk Res	Blast immunophenotypes associated with disease stage in myelodysplastic syndromes: a multicenter validation study.	Ogata K	血液・内分泌代謝・消化器内科
Leukemia	Marrow stromal cells induce B7-H1 expression on myeloma cells, generating aggressive characteristics in multiple myeloma.	Tamura H	血液・内分泌代謝・消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Immunology	Rivabirin modulates the conversion of human CD4+CD25- T-cell to CD4+CD25+FOXP3+ T-cell via suppressing interleukin-10 producing T-regulatory cell	Kobayashi T	血液・内分泌代謝・消化器内科
Leuk Lymphoma	Clinical evaluation of WT1 mRNA expression levels in peripheral blood and bone marrow in patients with myelodysplasticsyndromes	Ueda Y	血液・内分泌代謝・消化器内科
日本高齢消化器病学会誌	高齢が長期 NSAID 服用に関連する消化性潰瘍のリスクに与える影響	三宅 一昌	血液・内分泌代謝・消化器内科
Journal of Viral Hepatitis	An open-label randomized controlled study of pegylated interferon/ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C with versus without fluvastatin	Kondo C	血液・内分泌代謝・消化器内科
Journal of Gastroenterology	Clinical characteristics of Japanese patients with eosinophilic esophagitis and eosinophilic gastroenteritis	Kinoshita Y	血液・内分泌代謝・消化器内科
Digestion	Nizatidine Improves Clinical Symptoms and Gastric Emptying in Patients with Functional Dyspepsia Accompanied by Impaired Gastric Emptying	Futagami S	血液・内分泌代謝・消化器内科
Digestion	Small Intestinal Edema Had the Strongest Correlation with Portal Venous Pressure amongst Capsule Endoscopy Findings	Takahashi Y	血液・内分泌代謝・消化器内科
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Ribavirin downmodulates inducible costimulator on CD4 + T cells and their interleukin-10 secretion to assist in hepatitis C virus clearance	Atsukawa M	血液・内分泌代謝・消化器内科
Immunology	Ribavirin modulates the conversion of human CD4 <sup>+</sup> CD25 <sup>-</sup> T cell to CD4 <sup>+</sup> CD25 <sup>+</sup> FOXP3 <sup>+</sup>	Kobayashi T	血液・内分泌代謝・消化器内科
Digestive Endoscopy	Implication of antithrombotic agents on potential bleeding from endoscopically determined peptic ulcers, incidentally detected as surrogate markers for nsaids-	Miyake K	血液・内分泌代謝・消化器内科
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Combination of fluvastatin with pegylated interferon/ribavirin therapy reduces viral relapse in chronic hepatitis C infected with HCV genotype 1b	Atsukawa M	血液・内分泌代謝・消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床寄生虫学会誌	カプセル内視鏡で遭遇した小腸寄生虫の2例	藤森 俊二	血液・内分泌代謝・消化器内科
Alimentary Pharmacology and Therapeutics	Comparison of gastroduodenal ulcer incidence in healthy Japanese subjects taking celecoxib or loxoprofen evaluated by endoscopy: A placebo-controlled, double-blind 2-week study	Sakamoto C	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Microwave Surg	ラジオ波焼灼療法施行中の腫瘍内圧測定	川本 智章	血液・内分泌代謝・消化器内科
皮膚科の臨床	Henoch-Schoenlein 紫斑の小腸病変におけるカプセル内視鏡検査の有用性	亦野 蓉子	血液・内分泌代謝・消化器内科
Progress of Digestive Endoscopy	<I>H.pylori</I>陽性潰瘍に対する PPI/AM 療法と PPI/AC 療法の一次、二次除菌率の比較検討	坂本 壮	血液・内分泌代謝・消化器内科
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Lead-in treatment with interferon-β/ribavirin may modify the early hepatitis C virus dynamics in pegylated interferon alpha-2b/ribavirin combination for chronic	Itokawa N	血液・内分泌代謝・消化器内科
Digestive Diseases and Sciences	A study on the efficacy of rebamipide for patients with proton pump inhibitor-refractory non-erosive reflux disease	Adachi K	血液・内分泌代謝・消化器内科
Diseases of the Esophagus	Detailed features of palisade vessels as a marker of the esophageal mucosa revealed by magnifying endoscopy with narrow band imaging	Kumagai Y	血液・内分泌代謝・消化器内科
糖尿病	持続血糖モニター (CGM) による血糖変動の把握が有用であったインスリン抗体陽性糖尿病の1例	長尾 元嗣	血液・内分泌代謝・消化器内科
日本医科大学医学会雑誌	甲状腺クリーゼの治療中に甲状腺中毒性ミオパチーと思われる筋力低下が顕在化した1例	武市 奈緒美	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Atheroscler Thromb	Diagnosis and management of type I and V hyperlipoproteinemia	Gotoda T	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Diabetes Invest	FoxO1 breaks diabetic heart	Nagao M	血液・内分泌代謝・消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Endocrinol Metab.	Serum levels of tryglycerides is a potent risk factor comparable to LDL cholesterol for coronary heart disease in Japanese patients with type2 diabetes:subanalysis of the Japan Diabetes Complications Study(JDCS)	Sone H	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Hum Genet	Genetic variations in the CYP17A1 and NT5C2 genes are association with a reduction in visceral and subcutaneous fat areas in Japanese women	Hotta K	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Atheroscler Thromb	Relationship between coronary artery disease and non-HDL-C, and effect of highly purified EPA on the risk of coronary artery disease in hypercholesterolemic patients treated with statins: sub-analysis of the Japan EPA Liid Intervention Study (JELIS)	Sakaki j	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Diabetes Invest	Selective breeding of mice for different suscetibilities to high fat diet-induced glucose intolerance: Development of two novel mouse lines, Selectivity bred Diet-induced Glucose intolerance-Prone and -Resistant	Nagao M	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Atheroscler Thromb	Background to discuss guidelines for control of plasma HDL-cholesterol in Japan	Yokoyama S	血液・内分泌代謝・消化器内科
Diabetes Care	Comarison of various lipid variables as predictors of coronary heart disease in Japaneses men and women with type 2 diabetes: subanalysis of the Japane Diabetes	Sone H	血液・内分泌代謝・消化器内科
Clin Endoclinol	Identical germline mutations in the TMEM127 gene in two unrelated Japanese patients with bilateral pheochromocytoma	Takeichi H	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Atheroscler Thromb	The change in low-density lipoprotein cholesterol concentrations is positively related to plasma docosaehaenoic acid but not eicosapentaenoic acid	Itakura H	血液・内分泌代謝・消化器内科
J Atheroscler Thromb	Multicenter study to determine the diagnosis criteria of heterozygous familial hypercholesterolemia in Japan	Harada M	血液・内分泌代謝・消化器内科
Clinical Lung Cancer	Retrospective Analysis of Third-Line and Fourth-Line Chemotherapy for Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer	Kubota K	化学療法科

小計 10 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Thorac Oncol	Risk factors for treatment-related death associated with chemotherapy and thoracic radiotherapy for lung cancer	Kubota K	化学療法科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase I Study of Concurrent High-Dose Three-Dimensional Conformal Radiotherapy With Chemotherapy Using Cisplatin and Vinorelbine for Unresectable Stage III Non-Small-Cell Lung Cancer.	Kubota K	化学療法科
Clin Lung Cancer	Dose-Escalation Study of Thoracic Radiotherapy in Combination With Pemetrexed Plus Cisplatin Followed by Pemetrexed Consolidation Therapy in Japanese Patients With Locally Advanced Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer	Kubota K	化学療法科
MONET1. J Clin Oncol	International, Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Phase III Study of Motesanib Plus Carboplatin/Paclitaxel in Patients With Advanced Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer	Kubota K	化学療法科
日本胸部臨床	慢性肺疾患患者の診療における多面的評価-肺癌患者の多面的評価	久保田 馨	化学療法科
臨床雑誌「内科」	肺癌治療にまつわるトータルサポート-治療とケア	久保田 馨	化学療法科
Clinical Lung Cancer	Retrospective Analysis of Third-Line and Fourth-Line Chemotherapy for Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer	Kubota K	化学療法科
J Clin Oncol	International, Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Phase III Study of Motesanib Plus Carboplatin/Paclitaxel in Patients With Advanced Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer	Kubota K	化学療法科
BMC Psychiatry	The characteristics of serious suicide attempters in Japanese adolescents-comparison study between adolescents and adults	Kawashima Y	精神神経科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BMC Psychiatr	Influence of contact with schizophrenia on implicit attitudes towards schizophrenia patients held by clinical residents	Omori A	精神神経科
J Clin Psychopharmacology	Striatal and Extrastriatal Dopamine D2 Receptor Occupancy by a Novel Antipsychotic, Blonanserin: A PET Study With [11C]Raclopride and [11C]FLB 457 in Schizophrenia.	Tateno A	精神神経科
臨床精神医学	東日本大震災後における自殺未遂者の特徴	成重 竜一郎	精神神経科
精神神経誌	初老期のセネストパチーと躁的要素—気分安定薬の有効性—	上田 諭	精神神経科
医薬ジャーナル	ガバペンチン追加投与により発作消失を認めた難治性小児てんかん疾患	桑原 健太郎	小児科
小児科	症状・症候から診断を導くコツ 頭痛	桑原 健太郎	小児科
日本小児循環器学会雑誌	冠循環生理の基本と川崎病後遺症の各病型における冠循環動態	小川 俊一	小児科
小児科	川崎病の up to date 冠動脈病変治療の進歩	小川 俊一	小児科
World Allergy Organization J	Allergic Rhinitis and Its Impact on Asthma in Asia Pacific and the ARIA Update	Pawankar R	小児科
World Allergy Organization J	The unmet global health need of severe and complex allergies: meeting the challenge.	Pawankar R	小児科
J Nihon Med Sch	A neonate with reduced cytomegalovirus DNA copy number and marked improvement of hearing in the treatment of congenital cytomegalovirus infection.	Hayakawa J	小児科
小児科	症状症候から診断を導くコツ 33.出血斑	早川 潤	小児科

小計 12 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床2013年 別冊 新領域別症候群シリーズ 血液症候群(第2版)	血液症候群2 補体異常症	早川 潤	小児科
Curr Opin Allergy Clin Immunol	Allergic diseases and asthma: a major global health concern	Pawankar R	小児科
日本小児科循環器学会雑誌	扁桃摘出による fontan 手術適応拡大の可能性	深澤 隆治	小児科
J Nippon Med Sch	Mean Hemoglobin Levels in Venous Blood Samples and Prevalence of Anemia in Japanese Elementary and Junior High School Students	Igarashi T	小児科
J Nippon Med Sch	A Case of Juvenile Sjogrens Syndrome with Interstitial Nephritis	Igarashi T	小児科
別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ	Job 症候群(高 IgE 症候群ー反復感染症候群)	山西 慎吾	小児科
日皮会誌	トシリズマブ投与中に Hodgkin リンパ腫を発症した全身型 Castleman 病(multicentric Castlemans disease)の1例	高山 良子	皮膚科
皮膚臨床	Henoch-Schoenlein 紫斑の小腸病変におけるカプセル内視鏡検査の有用性	亦野 蓉子	皮膚科
皮膚臨床	Spindle cell lipoma の1例	川原崎 麻以上	皮膚科
Laser Therapy	Photopneumatic technology in acne treatment and skin rejuvenation : Histological assessment	Omi T	皮膚科
Laser Therapy	Low fluence Q-switched Nd:YAG laser toning and Q-switched Ruby laser in the treatment of melasma : a comparative split-face ultrastructural study	Omi T	皮膚科
JADS	人間関係構築のための行動変革	高松 章	皮膚科
日皮会誌	皮膚血管炎の診方 疾患概念の再認識 皮膚白血球破碎性血管炎の概念	川名 誠司	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
皮膚臨床	尋常性乾癬に合併した水疱性類天疱瘡の1例	岡崎 静	皮膚科
皮膚臨床	弾性線維の変性像を伴った Interstitial Type Granuloma Annulare の1例	篠原 理恵	皮膚科
皮膚病診療	アポクリン腺嚢腫	紺野 亜希子	皮膚科
日医大誌	アレルギー性接触皮膚炎の感作相は少なくとも2つのステップより構成され、その完成は皮膚の抗原に対する反応性の向上に重要である	金森 幸男	皮膚科
Aesthetic Dermatology	美容皮膚科診療に関する実態調査 日本美容皮膚科学会および日本臨床皮膚科医会の会員1132例におけるアンケート調査	古川 福実	皮膚科
Med Mycol J	Tinea faciei by <i>Microsporum gypseum</i> mimicking allergic reaction following cosmetic tattooing of the eyebrows	Ishizaki S	皮膚科
J Invest Dermatol	Inhibition of the Stem Cell Marker Nestin Reduces Tumor Growth and Invasion of Malignant Melanoma	Akiyama S	皮膚科
Allergol Int	Histamine H1-Receptor Antagonistic Drug Olopatadine Suppresses TSLP in Atopic Dermatitis Model Mice	Higashi M	皮膚科
Eur J Immunol	E-cadherin interactions are required for Langerhans cell differentiation	Mayumi N	皮膚科
日本臨牀	低補体血症性蕁麻疹様血管炎;血管炎—基礎と臨床のクロストーク—	川名 誠司	皮膚科
J Dermatol	Guidelines for chemical peeling in Japan (3rd edition)	Yamamoto Y	皮膚科
J Dermatol Sci	Eleven novel mutations of the ADAR1 gene in dyschromatosis symmetrica hereditaria	Kawaguti M	皮膚科
Exp Dermatol	Investigation by in vivo reflectance confocal microscopy: melanocytes at the edges of solar lentigines	Nakajima A	皮膚科

小計 13 件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Dermatol	Effect of chemical peeling on the skin in relation to UV irradiation	Funasaka Y	皮膚科
Am J Cancer Res	Reduced GNG2 expression levels in mouse and human malignant melanomas	Yajima I	皮膚科
未病と抗老化	メラノサイトの増殖および紫外線反応性に対する加齢の影響	船坂 陽子	皮膚科
Melanoma Res	The benefit of a sentinel lymph node biopsy and adjuvant therapy in thick (>4 mm) melanoma: multicenter, retrospective study of 291 Japanese patients	Fujisawa Y	皮膚科
日皮会誌	感染性肉芽腫	新見 やよい	皮膚科
Laser Therapy	Recalcitrant molluscum contagiosum successfully treated with the pulsed dye laser	Omi T	皮膚科
Journal of Cosmetics, Dermatological Science and Applications	TiO <sub>2</sub> Nanoparticles Induced Genotoxicity in Cultured Cells Using Atmospheric Scanning Electron Microscopy(ASEM)	Sato S	皮膚科
日本腹部救急医学会雑誌	脾切除後動脈性出血に対する Interventional Radiology の意義	川野 陽一	消化器・乳腺・一般・移植外科
癌と化学療法	Oxaliplatin による末梢神経障害に対する桂枝加朮附湯と附子の効果	山田 岳士	消化器・乳腺・一般・移植外科
Journal of Nippon Medical School	Objective Assessment of Postoperative Gastrointestinal Motility in Elective Colonic Resection Using a Radiopaque Marker Provides an Evidence for the Abandonment of Preoperative Mechanical Bowel Preparation	Junpei S	消化器・乳腺・一般・移植外科
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE	Determination of urinary trypsin inhibitor provides insight into postoperative complications in patients following esophagectomy	Akagi I	消化器・乳腺・一般・移植外科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ONCOLOGY LETTERS	Surgical wound management made easier and more cost-effective	Akagi I	消化器・乳腺・一般・移植外科
外科	甲状腺癌の治療効果と治療費	五十嵐 健人	内分泌・心臓血管・呼吸器外科
Journal of Cardiovascular Surgery	Effect of postoperative landiolol administration for atrial fibrillation after off pump coronary artery bypass surgery	Fujii M	内分泌・心臓血管・呼吸器外科
European Journal of Cardiothoracic Surgery	Cardioprotection with esmolol cardioplegia: efficacy as a blood-based solution.	Fujii M	内分泌・心臓血管・呼吸器外科
CCU テキスト	不整脈の外科治療	新田 隆	内分泌・心臓血管・呼吸器外科
Innovations	Double Potential Mapping: A Novel Technique for Locating the Site of Incomplete Ablation	Nitta T	内分泌・心臓血管・呼吸器外科
The Annals of Thoracic Surgery	Intraoperative Electroanatomic Mapping	Nitta T	内分泌・心臓血管・呼吸器外科
Journal of Arrhythmia	Nippon Storm Study Design	Kurita T	内分泌・心臓血管・呼吸器外科
月刊介護保険	特発性正常圧水頭症とは一原因不明の水頭症 歩行・認知・排尿がカギ	喜多村 孝幸	脳神経外科
Neuroradiology	Preoperative liquid embolization of cerebellar hemangioblastomas using N-butyl cyanoacrylate	Murai Y	脳神経外科
Clin Neurol Neurosurg	Analysis of ischemic cerebral lesions using 3.0-T diffusion-weighted imaging and magnetic resonance angiography after revascularization surgery for ischemic disease	Murai Y	脳神経外科
J Nippon Med Sch	Subarachnoid hemorrhage of unknown etiology along the cortical convexity	Murai Y	脳神経外科

小計 12 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Neurol Neurosurg	Perioperative complications of superficial temporal artery to middle cerebral artery bypass for the treatment of complex middle cerebral artery aneurysms	Matano F	脳神経外科
脳神経外科ビデオジャーナル	Radial artery graft の基本手技と周術期管理	村井 保夫	脳神経外科
N Engl J Med	The natural course of unruptured cerebral aneurysms in a japanese cohort	Morita A	脳神経外科
Journal of Cancer Therapy	Low frequency ultrasonication induced antitumor effect in 5-aminolevulinic acid treated malignant glioma	Yamaguti F	脳神経外科
Clinical Neuroscience	脳室と髄液腔の最新情報－脳室と髄液の解剖と生理－神経内視鏡手術に必要な脳室の解剖	喜多村 孝幸	脳神経外科
Med Mol Morphol	A transfection method for short interfering RNA with the lipid-like self-assembling nanotube, A6K	Yoshida D	脳神経外科
脳卒中の外科	撓骨動脈グラフトの基本	村井 保夫	脳神経外科
Immunobiology	Disruption of maternal immune balance maintained by innate DC subsets results in spontaneous pregnancy loss in mice	Negishi Y	女性診療科・産科
産婦人科の実際	II 内分泌・不妊 6. 不育症	竹下 俊行	女性診療科・産科
助産雑誌	不育症ってどんな病気？病態・原因・治療について知る	竹下 俊行	女性診療科・産科
臨床婦人科産科	オフィスギネコロジーー女性プライマリ・ケア【II章 月経異常/不妊・不育・避妊】第2度無月経	桑原 慶充	女性診療科・産科
東京産科婦人科学会誌	GnRH アゴニスト反復投与後にレボノルゲストレル徐放型子宮内避妊システムが有効であった子宮腺筋症の1例	浜野 愛理	女性診療科・産科

小計 12 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産婦人科の実際	母児 CMV(cyomegalovirus) screening の実施成績	印出 佑介	女性診療科・産科
臨床婦人科産科	【絨毛性疾患アップデート「取扱い規約」改訂をふまえて】絨毛性疾患の取扱い 存続絨毛症の取扱い	磯崎 太一	女性診療科・産科
東京産科婦人科学会誌	経膈回収バックを使用した 3mm 細径鉗子による低侵襲腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術	大内 望	女性診療科・産科
日本エンドメトリオシス学会	腹腔鏡下にて診断・治療し得た無症候性小腸子宮内膜症の 1 例	小野 修一	女性診療科・産科
日本エンドメトリオシス学会	子宮内膜症および子宮腺筋症におけるジェノゲスト投与中止例の検討	峯 克也	女性診療科・産科
日本エンドメトリオシス学会	レボノルゲストレル徐放型子宮内避妊システム(LNG-IUS)の難治性子宮腺筋症に対する有用性の検討	浜野 愛理	女性診療科・産科
産婦人科の実際	日本産科婦人科学会周産期委員会が提唱する分娩中の胎児心拍数陣痛図の波形分類の再現性と有用性の検討	林 昌子	女性診療科・産科
遺伝子医学 MOOK	臨床・創薬利用が見えてきた micro RNA】(第 1 章)microRNA 診断 妊婦における miRNA 診断 胎盤特異的 miRNA と妊娠高血圧症候群の発症予知	滝澤 俊広	女性診療科・産科
東京産科婦人科学会誌	当科低侵襲手術チーム:Team MIS(Minimally Invasve Surgry)における腹腔鏡手術研修システムについて	池田 真利子	女性診療科・産科
産婦人科の実際	【産婦人科の薬剤使用プラクティス:病態別処方-婦人科編】腫瘍 子宮体癌、子宮内膜増殖症	鴨井 青龍	女性診療科・産科
J Nippon Med Sch	Mimic Mini-laparoscopic Surgery is a Simple and Secure Approach Using Direct Placement of 3-mm Trocars without Noticeable Scars	Ichikawa M	女性診療科・産科
J Nippon Med Sch	Ultrasound Detection of Lacunae-like Image of a Cesarean Scar Pregnancy in the First Trimester	Sekiguchi A	女性診療科・産科
J Nippon Med Sch	Team-based Learning Using an Audience Response System: A Possible New Strategy for Interactive Medical Education	Fujikura T	女性診療科・産科

小計 13 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Obstet Gynaecol Res	Novel hybrid laparoscopic sacrocolpopexy for pelvic organ prolapse with a severe paravaginal defect	Ichikawa M	女性診療科・産科
Int J Oncol	Expression and role of nestin in human cervical intraepithelial neoplasia and cervical cancer	Sato A	女性診療科・産科
Reprod Sci	MiR-21 is enriched in the RNA-induced silencing complex and targets COL4A1 in human granulosa cell lines	Mase Y	女性診療科・産科
J Nippon Med Sch	Fetal heart rate classification proposed by the perinatology committee of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: reproducibility and clinical usefulness	Hayashi M	女性診療科・産科
Immunobiology	Disruption of maternal immune balance maintained by innate DC subsets results in spontaneous pregnancy loss in mice	Negishi Y	女性診療科・産科
Am J Reprod Immunol	Rapid and transient upregulation of CCL11 (eotaxin-1) in mouse ovary during terminal stages of follicular development	Kuwabara Y	女性診療科・産科
JMAJ	The Case of Fukushima Prefectural Ono Hospital; From the standpoint of the special counsel	Sawa R	女性診療科・産科
日医総研ワーキングペーパー	福島県原子力災害に対する損害賠償と復旧・復興のあり方に関する研究	畑中 卓司	女性診療科・産科
アレルギー	ガイドラインのワンポイント解説 アレルギー性鼻炎ガイドラインに基づいた診断と治療	後藤 穰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
アレルギー・免疫	アレルギー性鼻炎における治験のエンドポイント	後藤 穰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
ENTONI	アレルギー性鼻炎における外用薬治療について	後藤 穰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
小児科学レクチャー	アレルギー性鼻炎、結膜炎 アレルギー性鼻炎の原因	後藤 穰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
アレルギー・免疫	花粉症治療に用いられる薬物療法のトピックス	後藤 穰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JOHNS	花粉症はどの程度 QOL を低下させるか?	後藤 穰	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
ENTONI	小児花粉症の診断	後藤 穰	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Allergol Int. 2013 Feb 25	Severity Assessment of Japanese Cedar Pollinosis Using the Practical Guideline for the Management of Allergic Rhinitis in Japan and the Allergic Rhinitis and its	Gotoh M	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Allergy Asthma Proc	Non invasive biological evaluation of response to pranlukast treatment in pediatric patients with Japanese cedar pollinosis	Gotoh M	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Journal of Nippon Medical School	Inducible nitric oxide synthase participates in cochlear damage after acoustic stimulation in guinea pigs	Inai S	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Tohoku J Exp Med, 228: 371-376, 2012	Surgical Improvement of of Speech Disorder Caused by Amyotrophic Lateral Sclerosis	Saigusa H	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Eur. J. Anatomy	Fiber Arrangement of the Vertical Lingual Muscle of the Human Adult Tongue	Saigusa H	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
嚥下医学	慢性期統合失調症患者に発症した重症筋無力症による嚥下障害の一例	三枝 英人	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
J Nippon Med Sch	Retrospective study of laparoscopic radical prostatectomy for localized prostate cancer after transurethral resection of the prostate compared with retropubic radical prostatectomy at the same institution.	Suzuki Y	泌尿器科
J Nippon Med Sch	Bone-anchored sling created with the InVance® system for the treatment of incontinence after radical prostatectomy: initial experience in Japan	Suzuki Y	泌尿器科
Int J Urol	Bone-anchored sling using the Mini Quick Anchor Plus and polypropylene mesh to treat post-radical prostatectomy incontinence: early experience	Suzuki Y	泌尿器科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Department of Urology, Nippon Medical School	Retrospective Study of Laparoscopic Radical Prostatectomy for Localized Prostate Cancer after Transurethral Resection of the Prostate Compared with Retropubic Radical Prostatectomy at the Institution	Suzuki Y	泌尿器科
腎癌研究会会報	小径腎癌の予後因子の検討	木村 剛	泌尿器科
Circulation Journal	Landiolol, an ultra-short-acting beta1-blocker, more effectively terminates atrial fibrillation than diltiazem after open heart surgery	Sakamoto A	麻酔科
Journal of cardiothoracic surgery	Aggressive treatment with noninvasive ventilation for mild hypoxemic respiratory failure after cardiovascular surgery: Retrospective observational study	Nakazato K	麻酔科
Br J Pharmacol	Activation of NK1 receptors in the locus coeruleus induces analgesia through noradrenergic-mediated descending inhibition in a rat model of neuropathic pain	Muto Y	麻酔科
The Open Proteomics Journal	Volatile and intravenous anesthesia alter rat liver proteins: Proteomic time course analysis of rat liver proteins	Watanabe H	麻酔科
BMC Med Imaging	Proton nuclear magnetic resonance and pattern recognition analysis of liver extracts from rats under different anesthetics	Tajima T	麻酔科
Drug Design, Development and Therapy	Clinical evaluation of sivelestat for acute lung injury/acute respiratory distress syndrome following surgery for abdominal sepsis	Tuboko Y	麻酔科
Neuroscience Letters	Time-dependent repression of mPer2 expression in the suprachiasmatic nucleus by inhalation anesthesia with sevoflurane	Kubota K	麻酔科
European Journal of Anaesthesiology	Low-dose dexmedetomidine facilitates the carotid body response to low oxygen tension in vitro via $\alpha$ 2-adrenergic receptor activation in rabbits	Ishikawa M	麻酔科
Biomedical Research	Changes in microRNA expression in rat lungs caused by sevoflurane anesthesia: a TaqMan low-density array study	Tanaka S	麻酔科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Molecular Medicine	MicroRNA changes in the dorsal horn of the spinal cord of rats with chronic constriction injury: A TaqMan low density array study	Genda Y	麻酔科
Journal of Anesthesia	A prospective randomized multicenter comparative study of BLM-240 (desflurane) versus sevoflurane in Japanese patients	Takeda J	麻酔科
Journal of Cardiothoracic Surgery	Postoperative atrial fibrillation in patients undergoing coronary artery bypass grafting or cardiac valve surgery: intraoperative use of landiolol	Nakanishi K	麻酔科
Circulation Journal	Urgent management of rapid heart rate in patients with atrial fibrillation/flutter and left ventricular dysfunction &#8211; Comparison of the ultra-short-acting $\beta$ 1-selective blocker landiolol with digoxin (J-Land Study) &#8211;	Nagai R	麻酔科
Journal of anesthesia	Extracorporeal Membrane Oxygenation for 2009 Influenza A(H1N1) Severe Respiratory Failure in Japan	Takeda S	麻酔科
Cardiovascular Anesthesia	心臓外科における経食道エコー留置後の披裂軟骨脱臼の発生について	小野寺 英貴	麻酔科
Circulation	Implementation of the Fifth Link of the Chain of Survival Concept for Out-of-Hospital Cardiac Arrest	Tagami T	高度救命救急センター
Shock	Global End-Diastolic Volume is Associated with the Occurrence of Delayed Cerebral Ischemia and Pulmonary Edema after Subarachnoid Hemorrhage	Watanabe A	高度救命救急センター
Anaesthesia	The precision of PiCCO measurements in hypothermic post-cardiac arrest patients	Tagami T	高度救命救急センター
Critical Care	Using angiogenic factors and their soluble receptors to predict organ dysfunction in patients with disseminated intravascular coagulation associated with severe trauma	Wada T	高度救命救急センター
Critical Care	Angiogenic factors and their soluble receptors predict organ dysfunction and mortality in post-cardiac arrest syndrome	Wada T	高度救命救急センター

小計 11 件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Inflammation	The role of angiogenic factors and their soluble receptors in acute lung injury (ALI)/ acute respiratory distress syndrome (ARDS) associated with critical illness	Wada T	高度救命救急センター
最新医学	【人為災害】科学災害1. 製油所などを含む工場(爆発)事故	布施 明	高度救命救急センター
Neurol Med Chir (Tokyo)	Measurement of inflammatory cytokines and thrombomodulin in chronic subdural hematoma	Kitazono M	高度救命救急センター
Prehosp Disast Med	New Information Technology Tools for a Medical Command System for Mass Decontamination	Fuse A	高度救命救急センター
Journal of Infection Chemotherapy	Clinical efficacy and safety of arbekacin sulfate in patients with MRSA sepsis or pneumonia: a multi-institutional study	Matsumoto T	高度救命救急センター
整形・災害外科	超薄皮弁・プロペラ皮弁による軀幹・四肢再建、特集:マイクロサージャリー技術の進歩とその応用	小野 真平	形成外科・美容外科
Journal of Nippon Medical School	A case of Breast Reconstruction with Bilaterally divided Transverse Rectus Abdominis Musculocutaneous Flaps after Removal of Injected Silicone and Granuloma	Ono S	形成外科・美容外科
日美外報	金の糸と種々のレーザー・高周波機器との相互作用における短期間実験的検討	陳 貴史	形成外科・美容外科
瘢痕・ケロイド治療ジャーナル	瘢痕・ケロイド治療研究会ケロイド・肥厚性傷跡分類・評価表作成ワーキンググループ【ケロイド・肥厚性瘢痕の分類・評価】ケロイド・肥厚性瘢痕分類・評価表 2011 (JSW Scar Scale 2011)	小川 令	形成外科・美容外科
瘢痕・ケロイド治療研究ジャーナル	ケロイドの網羅的遺伝子発見解析およびシグナル伝達経路のバイオインフォマティクス解析	小川 令	形成外科・美容外科
瘢痕・ケロイド治療研究ジャーナル	MDCTによる胸部ケロイドの生理学的血行動態の解析	飯村 剛史	形成外科・美容外科
瘢痕・ケロイド治療研究ジャーナル	高線量率小線源治療装置によるケロイドの術後照射	栗林 茂彦	形成外科・美容外科

小計 12 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
瘢痕・ケロイド治療研究 ジャーナル	ケロイド発症年齢の検討	土佐 眞美子	形成外科・ 美容外科
PEPARS	冷却脂肪融解術(cryolipolysis)による躯幹の瘦 身治療について	青木 律	形成外科・ 美容外科
Plast Reconstr Surg	How large can a pedicled perforator flap be?	Ono S	形成外科・ 美容外科
Plast Reconstr Surg	Perforator-supercharged perforator-based propeller flaps	Ono S	形成外科・ 美容外科
Plast Reconstr Surg	Perforator-supercharged occipitocervicopectoral flaps for lower face and neck reconstruction	Ono S	形成外科・ 美容外科
創傷	物理的刺激と炎症の軽減に焦点を絞ったケロイド 治療	小川 令	形成外科・ 美容外科
胸部外科	理想的な皮膚, 軟部組織, 胸骨の縫合法	小川 令	形成外科・ 美容外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg	Reconstruction of elbow region defects using radial collateral artery perforator (RCAP)-based propeller flaps	Murakami M	形成外科・ 美容外科
PEPARS	形成外科領域に必要な免疫抑制剤の知識	小川 令	形成外科・ 美容外科
Wound Repair Regen	The relationship between skin stretching/contraction and pathologic scarring: The important role of mechanical forces in keloid generation	Ogawa R	形成外科・ 美容外科
J Nippon Med Sch	Relationship between Keloid and Hypertension	Arima J	形成外科・ 美容外科
Burns	Feasibility of dermis grafts in burn surgery	Takami Y	形成外科・ 美容外科
形成外科	乳房インプラントの合併症と対策(2)―乳房増大 術(豊胸術)について―、特集:乳房インプラントの 合併症と対策	百束 比古	形成外科・ 美容外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Plastic and Reconstructive Surgery	Evidence on Prognosis	Ono S	形成外科・美容外科
Int J Med Sci	Identification and Characterization of Wnt Signaling Pathway in Keloid Pathogenesis	Igota S	形成外科・美容外科

小計 2 件

合計 395 件

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 福永 慶隆
管理担当者氏名	各部署長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年度毎、各月毎に分類</li> <li>病歴番号による分類等</li> </ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年度毎、各月毎に分類</li> </ul>
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	庶務課	
	高度の医療の研修の実績	臨床研修センター	
	閲覧実績	庶務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	庶務課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	福永慶隆
閲覧担当者氏名	山本臣生
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	69.2%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,863人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,860人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	6,791人	
	D: 初診の患者の数	37,681人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>1. 医療安全管理に関する基本的考え方</li> <li>2. 医療に係る安全管理の組織に関する基本的事項</li> <li>3. 医療安全管理のための職員研修に関する基本的事項</li> <li>4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 当院と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>7. 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>1. 医療安全管理の指針の見直し、医療安全管理研修の計画、自己防止対策の策定・周知</li> <li>2. 安全管理に関する広報活動</li> <li>3. その他院長から諮問を受けた事項</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>「診療情報の取扱いと対応 ～第三者提供と漏洩事故を中心に～」平成24年5月7日</li> <li>「コーチングによる医療安全とチーム医療の構築」平成24年5月21日</li> <li>「患者に安全な医療のために、全ての医療関係者に必要な機能を身につけるには」平成24年10月29日</li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☑・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>1. 医療安全管理集中管理システム(セーフマスター)での管理</li> <li>2. 医療安全ウェブサイト(安全オンデマンド)による情報共有</li> <li>3. 医療安全管理に関する規定(指針・ガイドライン・マニュアル)の改正・配布</li> <li>4. 医療安全管理の手引きの改正・配布</li> <li>5. リスクマネージャ会議(月1回)における改善方策周知</li> <li>6. 院内リスクアナウンス(安全情報等)の周知確認登録(安全オンデマンド・電子カルテシステム画面を利用したポータルサイト)等</li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	☑(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☑(1名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任(8)名 兼任(8)名</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>1. 医療安全委員会の定期開催(月1回)</li> <li>2. リスクマネージャ会議の定期開催(月1回)</li> <li>3. 個人情報保護推進委員会の定期開催(月1回)</li> <li>4. 医療ガス安全管理委員会の定期開催(月1回)</li> <li>5. 放射線施設事故防止委員会の定期開催(月1回)</li> <li>6. 医療安全相互ラウンドの実施</li> <li>7. 日本医療評価機構への参画</li> <li>8. 医療安全管理に関する規定(指針・ガイドライン・マニュアル)の改正等</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	☑・無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 院内感染対策に関する基本的考え方</li> <li>2) 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</li> <li>3) 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</li> <li>4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 15 回 (臨時会議3回含)
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染対策の強化、追加、改善に関する方針・対応策の決定。</li> <li>2) 監視（サーベイランス）データのフィードバックと問題点に関する対応方法・計画の協議・決定</li> <li>3) 感染防止ガイドライン、マニュアル、指針の策定及び改正に関すること</li> <li>4) 院内研修及び教育活動に関する実施計画の立案、討議、決定</li> <li>5) 上記1～4に関する周知・徹底、ならびに周知・徹底方法に関する協議・決定</li> <li>6) アウトブレイク等院内発生事象に関する報告及び対応方法の協議・決定（臨時会議開催等）</li> <li>7) 感染制御部、感染制御チームに対する助言、支援</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回 (全職員対象)
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新人研修（全職種）研修（講義および演習）</li> <li>2) 院内感染対策講演会（全職員を対象として） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H24/7/31 薬剤耐性菌対策 (MDRA)</li> <li>・ H24/10月 感染防止強化月間手指衛生演習</li> <li>・ H25/2/21 耐性菌アウトブレイク後に我々が行う事</li> </ul> </li> <li>3) 部門・職種別研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中途採用者、清掃委託業者、看護部感染管理委員、臨床工学技士、放射線技師、救命救急センター及び集中治療室医師。医局カンファレンスへの参加</li> </ul> </li> </ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ☑・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬剤耐性菌医療関連感染防止対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立医科大学病院感染対策協議会、管轄保健所等への相談・支援依頼</li> <li>・ 積極的監視培養検査の拡充</li> <li>・ 薬剤耐性菌感染防止マニュアル、アウトブレイク対応マニュアル等感染防止マニュアルの改正</li> <li>・ 感染対策の院内周知・徹底に係る電子カルテ、イントラネットの活用</li> <li>・ 感染管理に係る新規器材の採用、変更および運用手順の変更・作成</li> <li>・ 病室等消毒・清掃の体制の構築、運営</li> </ul> </li> <li>2) 標準予防策の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全病室入口への個人防護具設置</li> <li>・ 自動ディスペンサー、フォームタイプの手指消毒剤への全面切り替え</li> </ul> </li> <li>3) 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染管理マネジャー組織の発足、運営</li> </ul> </li> </ol>	



## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 「医薬品の安全管理」 平成24年 4月</p> <p>2) 「医薬品の安全情報2012」 平成24年12月</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ( ☑・無 )</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品の安全使用のための業務チェックリストにて年2回確認を行っている。 (別紙)</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 添付文書については改定毎にMRより入手するか、医薬品医療機器総合機構ホームページよりダウンロードして対応する。</p> <p>2) 緊急安全性情報などは、薬剤部ニュース及び病棟担当薬剤師より主治医へ情報提供される。</p> <p>3) 医薬品（毎月発行）に関連情報を記載している。また、電子カルテ内に掲載し、職員がいつでも閲覧できるようになっている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年64回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 新しい医療機器の導入時の研修 ＜人工呼吸器 ハイフローシステム＞ 平成24年2月25日、平成24年2月26日 ＜電気メス SHAPPER Ai＞ 平成24年3月21日 ＜シリンジポンプ SP-80Bs＞ 平成25年1月17日 ＜モニタ EV1000＞ 平成24年10月18日 ＜ACT測定装置 ヘモクロンレスポンズ＞ 平成24年6月7日～平成24年6月12日 他</p> <p>2) 特定機能病院における定期研修 ＜補助循環装置 勉強会＞ 平成24年4月10日 ＜血液浄化装置 勉強会＞ 平成24年8月6日 ＜人工心肺装置 勉強会＞ 平成25年1月25日 ＜保育器 勉強会＞ 平成24年4月27日 ＜除細動器 勉強会＞ 平成25年3月21日 他</p> <p>3) その他必要に応じた研修 ＜経腸栄養ポンプ カンガルーポンプ 勉強会＞ 平成24年6月19日 ＜内視鏡システム 勉強会＞ 平成24年6月28日 ＜膜型人工肺 BIO CUBE 勉強会＞ 平成24年8月30日 ＜生体弁 MAGNA MITRAL EASE 勉強会＞ 平成24年10月4日 ＜ペースメーカー 勉強会＞ 平成24年11月2日 他</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (☑・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>1) 人工心肺装置保守点検 平成24年10月実施 2) 除細動装置保守点検 平成24年5月、8月、11月、平成25年2月実施</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 人工呼吸器の在庫状況を、FAXにて各病棟及び医師に周知した。 2) 人工呼吸器使用中の患者のベッドサイドにバックバルブマスクを常備することを徹底し、使用方法について勉強会を行った。</p>	

## 医薬品の安全使用のための業務チェックリスト

2010年4月改訂

2011年4月改訂

2012年4月改訂

—医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(調剤室)—

記入者名

実施年月日 年 月 日

設定 2008. 4

改訂 2012. 4

【概要】

1.0 基本事項

- 患者の個人情報を守秘する対策等が図られている
- 時間外の調剤への対応がととのっている
- 院内の理念、基本方針を遵守している
- 決定事項等を迅速に薬剤部職員に周知徹底している
- 各部署の業務内容を定期的に調査し、見直している
- 採用医薬品を薬剤部で一元管理している
- 医薬品マスターの管理に関与している
- 病棟に担当薬剤師を配置している

1.1 保有している設備とその保全

- 地震、防火等の対策が整備されている
- かぎのかかる貯蔵設備を有している
- 冷暗貯蔵のための設備を有している
- 調剤室等室の明るさが十分に確保されている
- 各機器、設備は定期的に保守点検が行われ、その結果が記録されている
- 薬剤部でインターネットが利用できる
- 集塵装置、局所排気等の職員の健康に関する設備が整備されている。
- 散剤分割分包機を有している
- 薬剤部専用のFaxを有している
- 薬剤部専用のパソコンを有している
- 自動薬袋作成機を有している
- 自動錠剤分包機を有している
- 薬剤部専用のシュレッダーを有している
- 薬剤部専用の複写機を有している
- 薬剤情報提供用のカラー印刷機を有している
- 換気が十分であり、かつ室内を常に清潔に保っている

1.2 コンピュータシステムの導入

- 散剤鑑査システムを導入している
- 錠剤鑑別、文献検索等のシステムを導入している
- 液剤鑑査システムを導入している

1.3 教育・研修

- 薬剤部で勉強会等を定期に開催している
- 電話での適正な疑義照会の仕方について指導している
- 院内外の学会、研修会等への出張が認められている
- 定期購読等図書購入費が認められている
- 日本医療薬学会等の「認定薬剤師」、「研修施設の認定」の取得を支援している
- (財)日本薬剤師研修センターの「研修認定薬剤師」の取得を支援している
- 各自研究テーマを持ち、積極的に取り組んでいる

1.4 勤務体制

- 平日宿直している
- 祝日、土曜日、日曜日宿直している
- 祝日、土曜日、日曜日直直している

1.5 診療報酬が認められている業務

- 調剤
- 外来患者への薬剤情報提供

1.6 作成している業務マニュアル

- 調剤過誤防止マニュアル
- 麻薬及び向精神薬取り扱いマニュアル
- 特定生物由来製品の管理マニュアル

### 1.7 院内各種委員会への参画

- 薬事委員会
- 院内感染防止対策委員会
- リスクマネジメント専門部会
- 褥瘡対策チームへの参画（診療報酬が認められている業務）

### 1.8 地域薬剤師会との連携

- 院外処方せんを発行している
- 院外薬局からの疑義照会の対応の仕方が確立している
- 地域薬剤師会との緊急連絡の対応の仕方が確立している
- 病院と地域薬剤師会との連絡協議会を設置（定期開催）している
- 「おくすり手帳」等を活用している

### 1.9 医療廃棄物処理

- 一般廃棄物、感染廃棄物、医療廃棄物を分別し廃棄している
- 患者情報が記載された「もの」について適切に廃棄している
- 有効期限切れ、使用残薬剤、投与中止、処方変更による未使用の薬剤を薬剤部（科）で処理している

## 【医薬品の採用】

### 2.0 採用医薬品の選定

- 薬事委員会に参画している
- 名称、外観類似の回避等使用安全確保の観点から評価している

### 2.1 医薬品情報の収集

- 添付文書等を収集している
- 新規採用医薬品のヒヤリングをしている
- 副作用の初期症状についての情報を収集している

### 2.2 医薬品情報の解析と評価

- 医薬品の安定性や製剤特性等について検討している
- 患者へ提供すべき医薬品情報について検討している
- 類似名称、外観類似等医療事故の誘発因子になる可能性の有無について検討している
- 保管上の問題点について検討している

### 3.0 麻薬

- 「麻薬譲渡証」を2年間保存している
- 麻薬譲渡証の商品名、数量、製造番号と現品とを照合している
- 麻薬譲渡証の記載事項及び押印等を確認している
- 麻薬の外箱に証紙による封緘を確認している
- 麻薬（規格単位）毎に購入量、製造番号（ロット番号）、購入年月日、卸業者の名称を麻薬管理簿に記録している

### 3.1 在庫管理

- デッドストックを防止している
- 定期に棚卸しを実施している
- 先入れ・先出しの原則を徹底している
- 災害時に必要な医薬品をリストアップし、一定の在庫量を確保している。
- 添付文書に記載されている貯法を遵守し、24時間空調等対策が施されている
- 医薬品管理室、医薬品庫及び調剤室、冷蔵庫等の温度をモニターしている
- 期限切れが間近な未使用医薬品を可能な限り返品処理又は有効利用している
- 破損処理を適切にしている
- 盗難、紛失を防ぐための対策が施されている

#### 3.1.1 麻薬

- 金庫は周囲の状況から見て安全な鍵のかかる部屋に設置している
- 麻薬保管庫は麻薬専用とし、他の医薬品や書類等を一緒に入れていない
- 麻薬保管庫は、出し入れのとき以外は必ず施錠している
- 受払管理簿の残数と現在庫数を毎日照合している
- 薬剤毎に受領年月日、施用又は交付年月日、受払数量、払出先、現在庫数、患者氏名（ID番号）を麻薬管理簿に記載している
- 所有している麻薬を廃棄するときは、「麻薬廃棄届出書」を知事あてに提出している
- 麻薬の廃棄は、麻薬監視員立ち会いの上廃棄し、管理簿に記載している
- 薬剤返還理由書と不要になった麻薬を受け取り、廃棄簿又は麻薬管理簿に記載し、第三者立ち会いの上粉碎等し、廃棄している

鍵は関係者のみ周知の場所に保管している

### 3.1.2 覚せい剤原料

- 金庫等施錠可能な保管庫に保管している
- 所有している覚せい剤原料を廃棄するときは、「覚せい剤原料廃棄届出書」を知事あてに提出している
- 覚せい剤原料の廃棄は、覚せい剤監視員立ち会いの上廃棄し、管理簿に記載している
- 薬剤(第1種、第2種)毎に受払年月日、受払数量、払出先、患者氏名、現在庫数、受払者氏名をノート等に記載している

### 3.1.3 向精神薬

- 金庫等施錠可能な保管庫に保管している
- 薬剤(第1種、第2種)毎に受払年月日、受払数量、払出先、患者氏名、現在庫数、受払者氏名をノート等に記載している
- 不要になった向精神薬を受け取り、第三者立ち会いの上粉碎等し廃棄している
- 廃棄した向精神薬の品名、数量及び年月日を記録し、その記録を保管している

### 3.1.4 毒薬

- 法規に基づいて適切に表示し保管している
- 鍵のかかる場所に施錠し保管している

### 3.1.5 劇薬

- 法規に基づいて適切に表示し保管している

### 3.1.6 特定生物由来製品

- 添付文書に基づいて適切に保管している

### 3.2 供給管理

- 医薬品の品質を確認し供給している
- 原則、注射剤も含め処方せんにより交付している
- 各診療科の特徴を考慮し、定数配置薬の供給方法(セット交換方式又は補充方式)を決めている
- 各診療科の使用量、使用頻度等を考慮し、定数配置薬の種類とその在庫数を決めている
- 麻薬、覚せい剤原料、向精神薬、毒薬、特定生物由来製品は必要最小量を処方するように指導している

### 3.3 処置薬

- 定期に有効期限、使用期間をチェックしている

### 3.4 患者持参薬の管理

- 持参薬について薬剤師が鑑別し、その情報を医師等に提供している。
- 電子カルテ内に「持参薬識別報告書」を入力している。
- 持参薬が採用医薬品でないときは、同一成分又は同効薬等についての情報を提供している
- 持参薬への対応の仕方が確立している

#### 【調剤】

### 4.0 処方せんの受付・点検

- リスクの高い薬剤(糖尿病治療薬、抗てんかん薬、抗悪性腫瘍剤、強心薬、抗不整脈薬、ワーファリン等)初回処方時には、患者情報等を電子カルテで確認している

### 4.1 患者情報に基づいた処方せんの解析評価(内用・外用剤)

- 用法・用量、投与日数等が添付文書から逸脱していないかどうかチェックしている
- 患者氏名、年齢、現疾患名と処方薬及び用量を照合し、適正かどうか解析している
- 重複投与、投与禁忌、相互作用等の有無をチェックしている
- 投与期間が適切かどうかチェックしている
- 処方薬の安定性、配合変化等について解析している

### 4.2 疑義照会

- 疑義照会に関する手順書を作成している
- 疑義内容を簡潔に要領よくまとめてから処方医に照会している
- 処方医に疑義照会の意図を正確に伝え、理解を得、納得した上で処方訂正している
- 訂正及び変更内容を処方せんの備考欄等に記載している
- 必要により訂正及び変更内容を看護師に連絡している
- 疑義照会経過(日時、薬剤師・医師氏名、疑義内容、変更・訂正の内容等)を記録している(薬歴簿等)

### 4.3 薬袋又はラベルの作成(内用剤・外用剤)

- 処方毎に処方薬の量及び剤型に応じた薬袋、容器、ラベル等を選択している
- 調剤年月日、患者氏名、診療科名、投与開始日、用法・用量等記載している

- 薬剤師の氏名、調剤済、調剤年月日を記載している
- 冷所、遮光等の保存方法を記載している
- 「必ず水に溶かして服用」、「多くの水で服用」等の服用時の注意事項を記載している
- 与薬スケジュール表の貼付等の工夫をしている

#### 4.4 計数調剤(内用剤・外用剤)

- 処方せんと薬袋等を照合している
- 処方せん1使用単位毎に処方薬を薬袋又はケース等に取り揃えている
- 遮光対策を施している

#### 4.5 計量調剤(内用剤・外用剤)

- 散剤を秤量する計量器のゼロ点の調整、水平確認等の確認を毎日実施している
- 処方せんと薬袋等の患者氏名を照合している
- 賦形剤を添加するルールを定め、添加したときは処方せんに種類と量を記録している
- 倍散、倍液、原末、製剤量等、処方せんに記載されている用量を確認している
- 錠剤やカプセル剤のつぶした数量を処方せんに記録している
- 粉碎した錠剤等はふるいをかけ他の散剤と混合している
- 乳鉢、乳棒、分包機等に付着した薬剤との相互汚染に注意している
- 配合変化表を掲示している

#### 4.6 調剤済薬剤の鑑査(内用剤・外用剤)

- 二重鑑査を実施している
- 処方せんの記載事項と薬袋、ラベル等への記載事項を照合している
- 処方せんに記載されている薬剤名と調剤済薬剤とを照合している
- 薬袋等の種類と数をチェックしている
- 分包されている散剤の色や形状等をチェックしている
- 分包された散剤に異物等が混入していないかチェックしている
- 散剤が均一に分包されているかチェックしている
- 処方変更、疑義照会の回答等が処方せんに記載されているかチェックしている
- チェックしたエラーについて、その内容をメモしている

#### 4.7 調剤済薬剤の交付(内用剤・外用剤)

- 薬袋への記載内容及び文字等の工夫をしている
- 便や尿の色が変わる等生理的变化について記載した文書(パンフレット等)を添付している
- 口腔剤、舌下錠、点鼻剤、点眼剤、坐剤、吸入剤等の用法についてわかりやすく記載した文書(パンフレット等)を添付している

#### 4.8 調剤過誤防止対策

- 散薬瓶や調剤棚等に貼付するラベルは、判別しやすい文字を用いている
- 冷所に保管する薬袋及びラベルには〇冷等の印をつけている
- 糖尿病治療薬、向精神薬が処方されている薬袋、ラベル等に〇向、〇糖等の印をつけている
- 散薬瓶等に貼付するラベルには医薬品名の他に規格や常用量等を表示している
- 名称、外観等類似している医薬品は隣接して配列することを避ける等の工夫をしている
- 散薬瓶、自動錠剤包装機等への充填は、複数人でラベルを確認し、充填記録帳等に充填年月日、医薬品名、実施者氏名を記載している
- 散薬瓶の充填機会を少なくするために小包装単位を購入し、可能な限りそのまま使用している
- 散薬瓶が空になってから充填している
- 散剤鑑査システムで出力されたプリントを処方せんに貼付している(導入している場合)
- 液剤鑑査システムで出力されたプリントを処方せんに貼付している(導入している場合)
- 錠剤やカプセル剤粉碎したときは、外した錠剤等のシート、混合した軟膏等のチューブ等を薬袋に添付している
- 混合不適薬剤一覧を掲示している
- 賦形剤の添加等調剤について、調剤指針を遵守している
- 各室の整理整頓を励行している
- 調剤機器を定期的に保守点検している
- 添付文書の注意事項の変更等について周知徹底している
- 調製後自己鑑査の実施を周知徹底している
- 調製した薬剤師と鑑査する薬剤師を異にしている(二重鑑査)
- 鑑査時に発見されたエラーについて記録している
- 鑑査時に発見されたエラーについて部員で情報を共有している(朝礼時等)
- 鑑査時に発見されたエラーについて定期的に分析を行い、対策を講じている
- 鑑査時に発見された誤って調剤された医薬品は一旦別に保管し、業務終了時等に調剤棚に戻している
- 医療事故や調剤過誤の症例報告を義務付けている
- 医療事故や調剤過誤等の原因について解析し、その防止対策を協議している
- 医療事故や調剤過誤が起きたときの迅速な対応について周知徹底している

5.0 院内感染対策

- 薬剤師がICTの一員として活躍している。
- 適切な消毒薬を選択している
- 開封後の消毒液を適正に管理している
- 薬剤部(科)から抗菌薬、消毒薬等の使用に関する情報を提供している
- 院内における抗菌薬使用の指針や基準が定められている
- 院内検出菌の推移、抗菌薬感受性の推移等定期的に調査している
- 抗菌薬の使用状況調査を実施している
- MRSA 感染症治療薬の使用状況を把握している

【教育】

6.0 卒前実習

- 卒前実習生を受け入れている
- 卒前実習のカリキュラムを作成している
- 実習生の評価をしている
- 実習テキストを作成している

17.0 卒後研修

- 卒後研修生を受け入れている
- 卒後研修のカリキュラムを作成している
- 研修生の評価をしている
- 実習テキストを作成している

\* 業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	医薬品安全管理 責任者印



－医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(注射薬品補給室)－

記入者名

実施年月日 年 月 日

設定 2008. 4
------------

改訂 2010. 3
------------

【概要】

1.0 基本事項

時間外の調剤への対応がととのっている

1.1 保有している設備とその保全

- かぎのかかる貯蔵設備を有している
- 冷暗貯蔵のための設備を有している
- 調剤室等室の明るさが十分に確保されている
- 薬剤部でインターネットが利用できる
- 薬剤部専用のFaxを有している
- 薬剤部専用のパソコンを有している
- 薬剤部専用のシュレッダーを有している
- 薬剤部専用の複写機を有している
- クリーンルームを有している
- クリーンベンチを有している
- クリーンベンチの浮遊塵及び細菌を定期検査している
- 安全キャビネットを有している
- 安全キャビネットの浮遊塵及び細菌を定期検査している

1.2 教育・研修

- 電話での適正な疑義照会の仕方について指導している
- 院内外の学会、研修会等への出張が認められている
- 日本医療薬学会等の「認定薬剤師」、「研修施設の認定」の取得を支援している

1.3 勤務体制

- 平日宿直している
- 祝日、土曜日、日曜日宿直している
- 祝日、土曜日、日曜日日直している

1.4 診療報酬が認められている業務

- 高カロリー輸液の無菌調製
- 抗悪性腫瘍剤の無菌調製

1.5 作成している業務マニュアル

- 薬品管理マニュアル
- 注射薬品補給室マニュアル
- 輸液調製マニュアル
- 抗悪性腫瘍剤調製マニュアル

1.6 院内各種委員会への参画

- 薬事委員会
- リスクマネジメント専門部会
- 医療ガス安全管理委員会
- 情報処理委員会

【医薬品管理】

2.0 購入管理

- 採用医薬品の使用量から発注量を決めている
- 発注書と納品を照合している
- 納品の商品名、剤形、数量、規格単位、包装単位、製造番号を確認している
- 納品の製造年月日と使用期限を確認している
- 納品の破損の有無、外観を検査している
- JGSPを実践している医薬品卸業者との間で購入契約を結んでいる

2.0.1 向精神薬(第1種及び第2種)

- 薬剤(規格単位)毎に購入量、購入(返品)年月日、在庫量、購入者氏名を小伝票等に記載している
- 納品書を保管している

2.0.2 毒薬

- 薬剤(規格単位)毎に購入量、購入(返品)年月日、在庫量、購入者氏名を小伝票等に記載している
- 納品書を保管している

2.0.3 特定生物由来製品

- 製剤毎に規格単位、製造番号(ロット番号)、購入量、購入年月日を小伝票等に記載している
- 納品書を保管している

#### 2.1 在庫管理

- 医薬品が適切に配置及び表示されているかチェックしている
- 普通薬、劇薬、毒薬、向精神薬、麻薬、覚せい剤原料、特定生物由来製品に分類し保管している
- 錠剤、散剤、液剤、外用剤、注射剤等の剤型毎に分類し保管している
- デッドストックを防止している
- 定期的に棚卸しを実施している
- 先入れ・先出しの原則を徹底している
- 添付文書に記載されている貯法を遵守し、24 時間空調等対策が施されている
- 期限切れが間近な未使用医薬品を可能な限り返品処理又は有効利用している
- 医薬品の在庫配置図等を作成している
- 破損処理を適切にしている
- 盗難、紛失を防ぐための対策が施されている

#### 2.1.1 向精神薬

- 金庫等施錠可能な保管庫に保管している
- 薬剤(第1種、第2種)毎に受払年月日、受払数量、実施年月日、払出先、患者氏名、現在庫数、受払者氏名を管理表に記載している
- 廃棄・返品した向精神薬の品名、数量及び年月日を記録し、その記録を保管している

#### 2.1.2 毒薬

- 法規に基づいて適切に表示し保管している
- 鍵のかかる場所に施錠し保管している
- 冷所保存品は施錠可能な保冷庫等に保管している
- 筋弛緩薬は薬剤(第1種、第2種)毎に受払年月日、受払数量、実施年月日、払出先、患者氏名、現在庫数、受払者氏名を管理表に記載している

#### 2.1.3 劇薬

- 法規に基づいて適切に表示し保管している

#### 2.1.4 特定生物由来製品

- 添付文書に基づいて適切に保管している
- 薬剤毎に受払年月日、ロット番号、払出先、患者氏名、実施年月日、払出数量、受払者氏名を管理表に記載している

#### 2.2 供給管理

- 医薬品の品質を確認し供給している
- 原則、注射剤も含め処方せんにより交付している
- 各診療科の特徴を考慮し、薬剤の供給方法(定数配置等)を決めている
- 各診療科の特徴を考慮し、定数配置薬の供給方法(セット交換方式又は補充方式)を決めている
- 各診療科の使用量、使用頻度等を考慮し、定数配置薬の種類とその在庫数を決めている
- 麻薬、覚せい剤原料、向精神薬、毒薬、特定生物由来製品は必要最小量を処方するように指導している
- 抗悪性腫瘍剤、覚せい剤原料は各診療科(部)に定数配置していない

#### 2.3 使用管理

- 麻薬、覚せい剤原料、向精神薬(第1種、2種)、毒薬について、誰が、何を、いつ、誰に、どのくらい使用したか、麻薬施用票、診療科の帳票(管理簿等)を毎日確認している
- 施錠の有無を確認している
- 患者の氏名(ID番号)、住所、使用した特定生物由来製品の名称、製造番号(ロット番号)、数量、使用年月日を使用管理簿に記録している
- 特定生物由来製品の名称と製造番号(ロット番号)から使用した患者の氏名(ID番号)及び使用年月日が検索できるシステムを構築している
- 特定生物由来製品の使用管理簿を20年間保管している
- 記録の保存を電子媒体でするときには、常に紙媒体で確認できるようにしている
- 盗難、紛失、破損等の事故発生状況の報告をお願いしている

#### 2.3.1 処置薬

- 定期に有効期限、使用期間をチェックしている

#### 2.3.2 救急薬

- 救急薬の種類及びその数量等について各診療科と協議し、決めている
- 定期に有効期限又は使用期間をチェックしている

【調剤】

3.0 患者情報に基づいた処方せんの解析評価(注射剤)

- 投与回数、投与方法、投与経路、投与速度、投与時間等が添付文書から逸脱しているかどうかチェックしている
- 患者氏名、年齢、体重等の患者情報と処方薬及び用量を照合し、適正かどうか解析している
- 投与期間が適切かどうかチェックしている
- 注射剤混合後の安定性及び配合変化をチェックしている

3.1 疑義照会

- 処方医に疑義照会の意図を正確に伝え、理解を得、納得した上で処方訂正している
- 訂正及び変更内容を処方せんの備考欄等に記載している
- 必要により訂正及び変更内容を看護師に連絡している
- 疑義照会経過(日時、薬剤師・医師氏名、疑義内容、変更・訂正の内容等)を記録している(薬歴簿等)

3.2 計数調剤(注射剤)

- 処方せん1使用単位毎に、必要な注射剤をトレイや薬袋等に取り揃えている
- 遮光袋等の添付品をつける等遮光対策を施している
- 管理表を用いてダブルチェックしている医薬品は抗悪性腫瘍剤、ジゴシン、投与間隔が定められた医薬品、名称が似ている医薬品をしている

3.3 無菌調製(注射剤)

- 配合変化表を作成し、確認している
- 無菌室(クリーンルーム、クリーンベンチ等)で注射剤を混合調製している
- クリーンベンチ内に消毒用アルコールを噴霧し消毒している
- 注射器、フィルター等の使用器材を無菌室内に配置している
- 混合する注射剤をトレイ等に入れ消毒用アルコール等で消毒し無菌室に搬入している
- 手指を洗浄しマスク、帽子、専用衣を着用して混合調製している
- 処方せんとラベルの患者氏名及び取り揃えた注射剤を照合している
- 処方せんの1使用単位毎に必要な薬剤を計量し、混合調製している(抗悪性腫瘍剤、高カロリー輸液の注射剤含む)
- ゴム穿刺部位を消毒し、専用キャップあるいは滅菌シールを貼付している
- 処方せん1使用単位毎にラベルを添付している
- 混合した実施者氏名、年月日、件数等業務内容を記録している
- 使用済み注射針、連結管、アンプル等を専用容器に入れ医療廃棄物として廃棄している
- 定期的に無菌室の落下菌、浮遊塵量等を検査している

3.3.1 無菌調製済薬剤の鑑査(注射剤)

- 二重鑑査を実施している
- 処方とラベルを再度照合し、患者氏名、処方薬、用量、投与方法、投与時間、投与速度等をチェックしている
- 使用済み空アンプル等の残量をチェックしている
- 色調、析出物、異物、液漏れ等をチェックしている

3.3.2 調剤過誤防止対策(注射剤)

- 用量単位がmg,mEq等からmLへの換算が複雑な場合には、溶液量を記載している
- 麻薬、インシュリン製剤、混合後不安定な薬剤等の混合しない薬剤について、その旨を処方せん(病棟控え)に記載している
- セットする注射剤の用量が1本の整数倍でない場合は、用量にアンダーライン等の印を付けている
- 無菌室等の整理整頓を励行している
- 調製後自己鑑査の実施を周知徹底している

\*業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	医薬品安全管理 責任者印

-医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(薬品情報室)-

記入者名

実施年月日 年 月 日

設定 2008. 7

改訂 2011. 4

【概要】

1.0 基本事項

- 患者の個人情報を守秘する対策等が図られている
- 薬剤師配置基準を満たしている
- 採用医薬品を薬剤部で一元管理している
- 医薬品マスターの管理に関与している

1.1 保有している設備とその保全

- 専用の医薬品情報室を設置している
- 薬剤部でインターネットが利用できる
- 薬剤部専用のFaxを有している
- 薬剤部専用のパソコンを有している
- 薬剤部専用のシュレッダーを有している
- 薬剤部専用の複写機を有している
- 薬剤情報提供用のカラー印刷機を有している

1.2 コンピュータシステムの導入

- 錠剤鑑別、文献検索等のシステムを導入している
- 診療支援システムが利用できる

1.3 教育・研修

- 薬剤部で勉強会等を定期に開催している
- 院内外の学会、研修会等への出張が認められている
- 各自研究テーマを持ち、積極的に取り組んでいる

1.4 診療報酬が認められている業務

- 褥瘡対策チームへの参画

1.5 作成している業務マニュアル

- 入院患者の持参薬取り扱いマニュアル

1.6 院内各種委員会への参画

- 薬事委員会
- 医療保険委員会
- 臨床検査委員会
- 褥瘡委員会

1.7 地域薬剤師会との連携

- 地域薬剤師会との緊急連絡の対応の仕方が確立している
- 採用医薬品の一覧を公開している
- 病院と地域薬剤師会との連絡協議会を設置(定期開催)している

【医薬品の採用】

2.0 採用医薬品の選定

- 薬事委員会で審議し、採用医薬品を決定している
- 名称、外観類似の回避等使用安全確保の観点から評価している
- 採用医薬品の品目数の上限を設定している(一増一減の厳守)
- 採用医薬品以外で院外処方する医薬品についても薬事委員会で審議している

2.1 新規採用医薬品の申請

- 医師の「新規採用医薬品申請書」等を薬事委員会事務局(薬剤部(科))で受け付けている
- 申請された医薬品の適切な情報を収集している
- 薬価算定の評価(類似薬等)を参考にしている
- 収集した医薬品情報を適切に解析している
- 薬事委員会等を定期(臨時有)に開催している

## 2.2 医薬品情報の収集

- 添付文書、インタビューフォーム、製品概要等を収集している
- 新規採用医薬品のヒアリングをしている
- 医薬品安全性情報等安全性に関する医薬品情報を収集している
- 同種同効薬の年間使用量を調査している
- 臨床試験、非臨床試験のデータを収集している
- 副作用の初期症状についての情報を収集している
- 同種同効薬について必要な医薬品情報を収集している
- 市販される新薬の動向を調査している
- 学術雑誌、学会誌等からも医薬品情報を収集している
- 新聞、雑誌、書籍等からも医薬品情報を収集している

## 2.3 医薬品情報の解析と評価

- 臨床試験データに基づいて有効性を検討している
- 有用性について同種同効薬と比較検討している
- 医薬品の安定性や製剤特性等について検討している
- 過量投与等による急性中毒(重篤な副作用の発現の有無)について検討している
- 高齢者、小児、妊産婦等への使用上注意すべき点について検討している
- 患者へ提供すべき医薬品情報について検討している
- 類似名称、外観類似等医療事故の誘発因子になる可能性の有無について検討している
- 保管上の問題点について検討している
- 院内の採用削除薬の代替、同種同効薬等について検討している
- 添加剤、溶解剤等製剤的物性について検討している
- 薬物動態学及び薬力学の視点から有効性、安全性について検討している
- 腎機能、肝機能への影響について検討している
- 非臨床データ(毒性、有害事象等)について検討している
- モニターすべき副作用の初期症状及び臨床検査値を検討している
- 作用機序等から副作用を予測している
- 包括支払い方式の導入に伴う経済的(収益性)有用性について検討している

## 2.4 薬事委員会

- 委員会の事務局を薬剤部(科)に置いている
- 委員会で使用する適切な資料を薬剤部(科)で準備している
- 委員会に提出された資料を薬剤師が説明している
- 採用可否について薬剤師としての意見を明確に述べている
- 資料に基づき医薬品の採否を審議している
- 審議内容が把握できる議事録を作成している
- 審議結果を各診療科に通知している
- 適宜、採用医薬品を見直している
- リスクの高い医薬品の適正な使用基準を決めている

## 2.5 採用医薬品の見直し

- 削除医薬品の過去1年間の使用量を調査している
- 使用量に合わせて包装単位を見直している
- オーフアンドラッグ、緊急処置薬、特殊薬剤を一覧表にしている

## 2.6 新規及び削除採用医薬品の事務手続き及び広報

- レセプト等事務手続きのために必要な情報を提供している
- 医薬品管理マスターに登録している
- 院内及び地域薬剤師会に文書等で連絡している

## 3.0 患者持参薬の管理

- 持参薬について薬剤師が鑑別し、その情報を医師等に提供している
- 持参薬が採用医薬品でないときは、同一成分又は同効薬等についての情報を提供している
- 持参薬への対応の仕方が確立している

## 3.1 医薬品管理諸統計帳票

- 医薬品別使用患者数

### 【安全管理】

## 4.0 医薬品情報

- 医薬品情報の収集・整理・保管管理及び情報の加工と専門的評価をしている
- 院内情報誌、医薬品集、印刷物(パンフレット)等を通じて情報提供を積極的にしている
- 医療従事者からの質疑に対する情報を収集し応答している
- 質疑応答の内容を記録している
- 必要に応じ質疑応答の関連文献を収集解析し雑誌等に報告している
- 副作用情報を的確に収集している

- 医薬品緊急安全性情報、医薬品等安全性情報を医師等へ迅速に文書により伝達している
- 常時、医薬品に関する問い合わせに対応している
- 医薬品、家庭用品及び農薬等の中毒情報を収集、整理し、活用している
- 院内医薬品集を作成し、必要に応じ改定し、追補を発行している
- 新規採用医薬品の情報を速やかに提供している
- 院内で収集した副作用を検討し、必要により厚労省へ報告している

5.0 医療機関からの副作用等の報告

- 下記の事例の様な医薬品の使用による事象が起きたときには厚生労働省に報告している
  - 死亡、障害、治療のための入院又は延長が起きたとき
  - 使用対象者の子に先天異常が認められたとき
  - 添付文書に記載されていない事象が起きたとき など

\* 業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	医薬品安全管理 責任者印

—医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(製剤室)—

記入者名

実施年月日      年   月   日

設定 2008. 4
改訂 2010. 3

1.0 保有している設備とその保全

- かぎのかかる貯蔵設備を有している
- 冷暗貯蔵のための設備を有している
- 製剤室の明るさが十分に確保されている
- 各機器、設備は定期的に保守点検が行われ、その結果が記録されている
- 薬剤部でインターネットが利用できる
- オートクレーブを有している
- 感熱滅菌器を有している

2.0 作成している業務マニュアル

- 院内製剤調製マニュアル

3.0 劇薬

- 法規に基づいて適切に表示し保管している

3.1 在庫管理

- デッドストックを防止している
- 定期的に棚卸しを実施している
- 先入れ・先出しの原則を徹底している
- 医薬品庫及び冷蔵庫等の温度をモニターしている

3.2 供給管理

- 医薬品の品質を確認し供給している
- 注射剤も含め、必要に応じ処方せんにより交付している

【院内製剤】

4.0 特殊製剤の調製

- 医師からの依頼を受け、薬剤部(科)での製剤が可能かどうか検討している
- 院内の倫理委員会(院内製剤検討委員会等)で審議している
- 製剤の有用性及び安全性についての情報(文献等)を収集している
- 期待される有用性と考え得る危険性について処方医と協議している
- 患者使用への経費負担等について十分検討している
- 製剤の安定性等を考慮した処方設計について検討している
- 汚染及び品質劣化を防止するための滅菌装置やクリンルーム等の設備が整っている
- 品質試験を行い、品質の保証に努めている(異物混入の有無、pH試験等)
- 通常の調剤済薬剤と同様に、薬袋やラベルに適切な内容を表示して患者に交付している
- 製剤調製記録及び製剤上問題点等を記録している

\*業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	医薬品安全管理 責任者印

— 医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(外来用) —

実施年月日

年 月 日

臓器別診療科:	記入者名:	／ 薬剤師名
---------	-------	--------

- デッドストックを防止している
- 先入れ・先出しの原則を徹底している
- 破損処理を適切にしている
- 盗難、紛失を防ぐための対策が施されている

1.1 向精神薬・毒薬・劇薬

- 該当なし
- 金庫等施錠可能な保管庫に保管している

1.2 麻薬

- 該当なし
- 施錠されている
- 鍵は決められた場所に保管されている(スペアキーも含む)
- 責任者により定期的に鍵の保管状況の確認が行われている

1.3 特定生物由来製品

- 該当なし
- 添付文書に基づいて適切に保管している
- 「特定生物由来製剤使用連絡票」を用いて使用記録をしている

2.0 配置薬

- 定期的に有効期限、使用期間をチェックしている

\* 業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	薬剤部 医薬品安全管理 責任者印



**← 医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(病棟用) →**

実施年月日  
年 月 日

病棟名:	記入者名:	/ 薬剤師名
------	-------	--------

1.0 在庫管理

- デッドストックを防止している
- 先入れ・先出しの原則を徹底している
- 破損処理を適切にしている
- 盗難、紛失を防ぐための対策が施されている

1.1 向精神薬・毒薬・劇薬

- 該当なし
- 鍵は関係者のみ周知の場所に保管している

1.2 麻薬

- 該当なし
- 施錠されている
- 鍵は決められた場所に保管されている(スペアキーも含む)
- 責任者により定期的に鍵の保管状況の確認が行われている

1.3 特定生物由来製品

- 該当なし
- 添付文書に基づいて適切に保管している
- 使用した医薬品のロット番号を処方せんに記載している

2.0 配置薬

- 定期(3月・9月)に有効期限、使用期間をチェックしている

3.0 救急薬

- 救急薬の種類及びその数量等について各診療科と協議し、決めている
- 救急カートへの医薬品の配置や表示に工夫を施している
- 救急薬の請求伝票と在庫量を照合し補充している

4.0 患者持参薬の管理

- 持参薬への対応の仕方が確立している

5.0 リスクマネジメント

- 病棟での薬剤に関するアクシデント・インシデント事例に基づき、薬剤師と今後の対応策を協議している
- 病棟での副作用事例について、薬剤との因果関係など今後の対応策等を協議している

\* 業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	薬剤部 医薬品安全管理 責任者印

**—医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(医長用)—**

実施年月日  
年 月 日

臓器別診療科:

記入医師名:

**1.0 医薬品の安全管理責任者**

医薬品の安全管理を確保するため「医薬品安全管理責任者」が設置されているのを知っている

**2.0 医薬品の採用・購入**

医薬品の採用・購入に関する事項は薬事委員会で定めているのを知っている

**3.0 有害事象の報告**

下記の事例の様な医薬品の使用による事象が起きたときには厚生労働省に報告している  
 死亡、障害、治療のための入院又は延長が起きたとき  
 使用対象者の子に先天異常が認められたとき  
 添付文書に記載されていない事象が起きたとき など

**4.0 医薬品情報**

医薬品緊急安全性情報、医薬品等安全性情報を知っている  
 薬剤部ニュース、医薬品集、印刷物(パンフレット)等の情報提供を受けている

**5.0 医薬品の安全使用のための研修**

医薬品の安全使用のための研修(安全管理講習会等)を受けている

\* 業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	薬剤部 医薬品安全管理 責任者印

**一医薬品の安全使用のための業務チェックリスト(薬事委員用)一**

実施年月日  
年 月 日

臓器別診療科:

記入医師名:

**1.0 医薬品の安全管理責任者**

医薬品の安全管理を確保するため「医薬品安全管理責任者」が設置されているのを知っている

**2.0 医薬品の採用・購入**

医薬品の採用・購入に関する事項は薬事委員会で定めているのを知っている

**3.0 有害事象の報告**

下記の事例の様な医薬品の使用による事象が起きたときには厚生労働省に報告している  
 死亡、障害、治療のための入院又は延長が起きたとき  
 使用対象者の子に先天異常が認められたとき  
 添付文書に記載されていない事象が起きたとき など

**4.0 医薬品情報**

医薬品緊急安全性情報、医薬品等安全性情報を知っている  
 薬剤部ニュース、医薬品集、印刷物(パンフレット)等の情報提供を受け、知っている

**5.0 医薬品の安全使用のための研修**

医薬品の安全使用のための研修(安全管理講習会等)を受けている

\* 業務チェックは年2回(3月・9月)の医薬品の品質管理時に実施する

備考欄	薬剤部 医薬品安全管理 責任者印